

六稜同窓会140周年総会・懇親会

日 時：2013年11月2日(土)

開催のご案内

場 所：大阪市中央公会堂(大阪市北区中之島)

担当期：94期 時間等詳細は61号にてお知らせします

140周年記念名簿 予約販売受付中 (平成25年10月発刊予定)

名簿の発行に先立って予約を受け付けさせていただきます。
名簿の販売価格は一冊5,000円ですが、事前予約の方に限り一冊4,000円で販売させていただきます。本会報同封の払込用紙で平成25年5月31日までにお振込み下さい。
ご入金を以て予約受付させていただきます。



名簿への広告を募集しています。広告料は下記の通りです、奮ってご応募ください。(締切は平成25年5月31日)

広告料	(円)
1 ページ	100,000
1/2 ページ	50,000
1/3 ページ	35,000
1/4 ページ	25,000
名刺広告	10,000

申込みは六稜同窓会事務局迄

六稜会報 No.60

発行日 2013年3月1日
発行責任者 山本雅弘(71期)
編集 六稜同窓会
広報委員長 千種康一(88期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025大阪市淀川区新北野2-5-13府立北野高校内
tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
email.office@rikuryo.or.jp

事務局 平日 10:00~17:00(土・日・祝日は休み)

印刷 遊文舎
〒532-0012大阪市淀川区木川東4丁目17-31
tel.06-6304-9325 fax.06-6304-4995

RIKURYO KAIHO, Journal of the RIKURYO Alumni Association of Kitano High School



CONTENTS

- 2 会長挨拶
- 3 名誉会長挨拶
- 4 六稜同窓会139周年
総会のご報告
- 11 東西講演会
(六稜トクリュー・東京六稜倶楽部)
- 12 FR委員会
- 13 六稜同窓会会則改訂版

Party Reports

- 14 同期会報告(56, 66, 69, 70期)
- 20 (72, 74, 89, 94, 101,
108, 111期)
- 23 六稜カルチャー講座/アマゾン
- 16 特集「今は無きクラブ」

トピックス

- 7 六稜水友会30周年パーティー
- 8 六稜バスケットボールクラブ
- 9 故阿部隆石先生墨蹟除幕式
- 9 八軒家浜に燈籠を寄贈
- 10 期別対抗ゴルフへの取組み(82期)
- 10 第24回六稜クラブ対抗ゴルフ結果
(卓球部)
- 2013年のコンペ日程

母校の窓

- 25 クラブだより
- 29 125期学年理事/クラス幹事

事務局だより

- 30 理事会報告
- 同期会開催助成金制度
- 会費納入のお願い
- 会費クレジットカード決済
- 31 お悔やみ/六稜文庫

初めての同期会

- 24 第1回121期同窓会
- 同期会など予告

- 32 140周年総会
懇親会のご案内
- 140周年記念名簿 予約
広告受付中



【第14回 文化芸術祭】(12月21日)
舞台発表部門 ※吹田市メインアターにて
◎体育科「ダンス・ダンス・ワールド」◎音楽科「第22回音楽フェスティバル」



60
2013.3.1

【特集】
今は無きクラブ
部活動は「青春」そのもの

140年の六稜のぞき見

六稜同窓会 会長 山本雅弘（71期）



私たちの母校は今年開校140周年を迎えます。校歌を想い浮かべながら学校の沿革をのぞいてみると、先人の事蹟が幾重にも重なって感慨深いものがあります。

◇その昔難波御堂に…

今から140年前、1873年（明治6年）大阪府令により難波御堂内に「欧学校」が設立され、これが当校の起源になっています。

明治維新後、廃藩置県を経てようやく近代国家の体制が整った、まさにその時期で、小学校卒業生が中学普通科を修学するために設立されたものです。但し、小学校はまだ開校して間がなく、卒業生はいない状態なので、在学中の優秀な生徒を選抜入学させたようです。なお、「難波御堂」は東本願寺の南御堂のことです。

◇堂島に次ぎて…

その後、発布されたばかりの学制の進展に伴い合併、分離を経て、10年後の1883年（明治16年）に「府立大阪中学校」となり、同年堂島浜通3丁目（旧中津藩邸）に移転しました。当初はこの年を開校の年として周年行事を行っていましたが、原点は「欧学校」にありとして、1973年（昭和48年）を100周年と定め、同年に幾つかの記念事業を実施しました。その一つが大阪城の梅林で、同窓会が造成して大阪市に寄贈したものです。毎年2月の第4水曜日にはこれを記念して観梅会、昼食懇親会を催しています。

◇次ぎて北野に…

堂島に次いで、当校は1902年（明治35年）に北野芝田町に移転し、この時「大阪府立北野中学校」と改称しました。済生会中津病院の正面にある記念碑はそれを記念したもので、毎年4月20日（土、日、祝日の時はその前日）に「記念碑の会」が同所で開かれています。この碑は1983年（昭和58年）創立110周年事業として建立されたものです。

◇そして十三へ

それから約30年後の1931年（昭和6年）に現在の地に校舎が新築され移転しました。中津から十三へ、今でこそ十三大橋があり、往来は簡単で

すが、当時はまだ橋は狭く、引越し作業は難渋を極めたようです。しかし、この時もっと大きな問題が発生していました。移転にともなって、府が校名変更の意向を持っていることが判明しました。これに対して同窓会が校名維持の陳情書を提出、「たとえ将来市区の東西南北が幾十里に拡張され、母校の位置が幾十度移転しても北野中学校の名は永世改められないことを希望する」と述べています。この動きに生徒保護者会も同調、同様の趣旨の陳情書を府に提出しています。こうした運動の結果、校名変更は行われず現在に至っています。

◇六稜同窓会の誕生

ところで、「六稜同窓会」が成立したのは1924年（大正13年）学校創立40周年（当時）時で、北野芝田町時代です。それまで、地域、学校、卒業期別など、さまざまな形の同窓会組織があったものを、40周年記念式典終了後に開かれた同窓大会で、第1期卒業生の安場禎治郎氏起草の「六稜同窓会規則」を承認し、卒業生全体組織として発足しました。その後直ちに「六稜同窓会名簿」「六稜同窓会報」が相次いで発行されています。

◇もうすぐ90才

したがって当同窓会も来年設立90年を迎えることになります。ほんの少し先人の事蹟に触れましたが、そこには母校への熱い想いが感じられ、胸うたれるものがあります。私たちの今ある同窓会は、こうした伝統を背負っているわけです。そう、胸うたせる過去の事蹟と胸うたれる現在の私たちが共存し、かつ次ぎに繋がっていく—そうした連鎖がよき伝統を生む力になるのではないのでしょうか。

今、同窓会、生徒保護者会、現役の先生と生徒といったたくさんの人たちが、創立140周年を飾る事業に取り組んでいます。そして、この、皆さんで寄ってたかつてつくりあげた場が少しでも次ぎの世代につなげる機会になればと念じています。

ごあいさつ

大阪府立北野高等学校 校長
六稜同窓会 名誉会長 楠野宣孝



六稜同窓会の会員の皆様には、平素より母校の教育活動への深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

生徒たちは、それぞれの目標の達成に向かって、勉強に部活動に、学校行事に日々全力で取り組んでおります。我々教職員も、「授業第一」「文武両道」の合言葉のもと、彼らに知・心・体のバランスのとれた豊かな人間性を育むことができるよう、より充実した教育活動に努めているところであります。

さて、「グローバル社会で活躍できるリーダーを育成する」進学指導特色校の取組みが始まって2年が経過しようとしています。本校では、これまで府立高校をリードしてきた普通科をさらに充実させるとともに、文理学科においてSSコース（スーパーサイエンスコース）での取組みを文科系にまで拡大し、より深めた学習を進めているなど、進学指導特色校として着実に前進しているところです。

大変に個性豊かな生徒たちが、それぞれの違いを認め合い、尊重し、共に成長していく姿にはリーダーとしての逞しさを感じます。

彼らはこれから5年後、10年後に、まさにグローバル社会での活躍が期待されるわけですが、学校としては日々の教育活動に加えて、使える英語教育の推進及び国際交流の充実にも取り組んでいく必要があると思っています。これは、現在外国で活躍されている卒業生や、過去に外国での勤務経験がある方からのご指摘もあるところです。

本校では、既に昨年度からその取り組みは始めています。平成23年4月から電子黒板を活用した授業を始めており、特に英語の授業では進むスピードや情報量など、これまでの展開が一変しました。もともと英語が得意な生徒が多いことありますが、現在の到達レベルには目を見張るものがあります。さらに、グループによる課題研究のプレゼンテーションや、大学教養程度の法学・教育学・経済学の学習を全て英語で行うなど、多彩な取り組みを行っております。

国際交流も着実に進んでいます。本校の国際交

流は、これまで、平成5年に始まったアメリカのシアトルにあるセントウッド高校との毎年5名程度の生徒の相互訪問のみでした。

そのような中、昨年5月に台湾の女子校のリーダー校といわれる台北市立第一女子高級中学総勢60名（日本の高校2年生）が本校を訪問して来ました。半日の交流でしたが、授業や交流会では双方の生徒が英語で楽しそうに話をするなど、すぐに親しくなっていました。また、今年の4月には同じく台湾から、今度は男子校のリーダー校といわれる台北市立建国高級中学の生徒80名が本校を訪問して来ます。この台湾の2校と来年度から交流を深めていく予定です。

さらに、ハワイのプナホウ学園（オバマ大統領の母校）との交流も始まっています。本校1年生の英語の授業の中で、プナホウ学園の生徒との電子メールによる意見交換を始めています。ハワイ大学における語学研修と併せて、さらなる交流を現在計画中です。

このように、グローバルリーダーの育成に向けて、生徒たちに様々な形で刺激をしていこうと思っています。将来的には、本校の生徒同士、本校と外国の生徒の間で英語による議論ができればと期待しています。

グローバル教育の紹介になってしまいましたが、その他のところでも当然ながら取り組みは進んでいます。例えば、昨年からは始まった「科学の甲子園」では、昨年に引き続いて大阪府大会で優勝いたしました。3月末に全国大会へ出場いたします。その他、部活動や各種コンテストにおいても着実に成果を出しているところです。

このように、現在も北野高校では頼もしい生徒たちが学んでおり、我々教職員も彼らの夢をかなえるべく、日々全力で頑張っているところです。六稜同窓会の皆様におかれましては、今後とも、温かい励まし、さらにはご支援をお願い申しあげましてご挨拶とさせていただきます。

六稜同窓会139周年総会のご報告

桐野尚子（93期）



2012年10月28日（日）、良いお天気に恵まれますように…との願いは叶わず、小雨模様で始まった六稜同窓会139周年総会が、北野高校多目的ホールで開催されました。総会出席者は、50期から124期までの225名。幹事学年の93期は「ホスピタリティ」を合い言葉に、総勢94名で総会の運営をさせていただきました。

【第1部 総会】

多目的ホールで同窓生を迎えるのは、現役のオーケストラ部（38名）によるモーツァルトです。司会の徳岡浩二総務委員長（92期）より開会の辞が述べられ、再びオーケストラ部による演奏が会場を穏やかに包み込んでいきます。

山本雅弘同窓会会長（71期）から、会館催事委員会のアーカイブ部会による展示企画「六稜の文化勲章受章者」のパネル展示（先輩5名の北野高校時代の写真と受賞内容など）についてのご紹介と、2013年1月に各クラブのOB・OGの情報交換の場を設けることなど、“よってたかって状態”でみんなが集う場として、楽しく意義のある場にしていけることが同窓会のテーマであるとのお話がありました。



次に、六稜同窓会名誉会長の楠野宣孝校長からご祝辞をいただくとともに、2011年度より

始まった「科学の甲子園」で、北野高校の成績が全国48校中総合9位（筆記競技は2位）だったこと、2012年、大阪府大会2連覇を達成し、2013年3月末に行われる全国大会に出場するという現役生の活躍ぶりをご紹介いただきました。

続いて、笹川忠士事務局長（74期）から同窓会の活動が紹介されるとともに、2011年に96歳でお亡くなりになった書道の阿部醒石（本名・俊一）先生墨蹟碑の除幕式が、11月3日に行われる旨、報告されました。

総会の大詰めは、広告クリエイティブディレクター／コピーライターの小霜和也さん（93期）による卓話「あなたを無意識に動かすもの」です。小霜さんは、ただ商品を売るのではなく、それを生活文化にまで高めようというセオリーで広告を制作されており、彼が手がけた広告から「ご当地グルメ」、「B級グルメ」という文化が生まれています。これまで培ってきた広告の世界を土台に、心理学や人の本能といったものに踏み込みながら、「ストレスのない人生を送るために」といったテーマで展開するお話に、会場みなさんもおおいに興味を持って楽しんでおられました。

【第2部 懇親会】

六稜会館3階ホールに場所を移動して行われた懇親会及び124期歓迎会は、238名の参加となりました。司会は、93期の赤坂尚子さん（元・剣道部）と高田義弘さん（元・野球部）。本日最高齢（93歳）・阿部源三郎さん（50期）は、総会3日前の園遊会で、天皇皇后両陛下、秋篠宮妃



子さまからお言葉をかけていただいたというエピソードをユーモアたっぷりにご披露くださり、パワーあ

ふれるご発声で、一同、気持ちよく乾杯させていただきました。

阿部先輩に触発された、124期の吉田覚さん（元・サッカー部）の挨拶は、初々しさが好評で、同窓会活動への期待も高まります。若くしては老人と交わり、老いては青年と交わるという「忘年の交」が、ここ六稜同窓会では実践されています。



前回の懇親会で、参加者に配る記念品費用を東日本大震災へのお見舞金としたことを引き継ぎ、今回も「六稜同窓会139周年総会一同」として、お見舞金5万円を、93期の学年理事・清重剛男さんから山本会長に託しました。ここで突然、山本会長からお呼びがかかったのが、会長と同姓同名の124期・山本将弘さん（1字違い）です。いずれは同窓会会長に…との抜擢に会場一同、大いに湧きました。

続くお楽しみ抽選会で見事1等を引き当てられたのは、同窓会初参加という山本隆造さん（63期）で、



戦時中、府立北野中学校において、空襲の犠牲になられた62期の故・中島先輩がいらした防空壕を見た生き証人であるとおっしゃっていました。次期幹事を代表して西畑宏昭さん（94期）から、今回の140周年記念総会に向けての意気込みが語られたあと、恒例のエールは93期応援部の中村雅一さん、校歌のピアノ伴奏をオーケストラ部の山田良江さん、コーラス部の田中慎一郎さんが指揮をとって、エールと校歌の1番、2番、5番を来賓、大先輩の皆様も立ち上がって、参加者全



員での熱唱となりました。

「次の記念大会での再会を期して、1年間ストレスなく過ごしましょう」と上田成之助同窓会副会長（80期）が閉会の辞を述べられ、万歳三唱もあざやかに無事お開きとなりました。



戦時中に使用され、銃弾が当たってへこんだヘルメットを永い間見つめていらした先輩から、戦友や戦争のことなどいろいろ教えていただいた会館地下ギャラリーの警備担当者の話を聴き、また、六稜会館の1階サロンに展示された「六稜の文化勲章受章者」を拝見するなど、母校の偉大さ、先輩方から引き継いだことを後輩たちに引き継いでいくことの大切さを、改めて感じました。

●六稜同窓会139周年総会

【小霜和也氏の卓話】

「あなたを無意識に動かすもの」

広告とは何か

広告というのは意外と科学で、おもしろおかしいことをやっていたらいいというわけではありません。商品のウリと生活者の欲求の接点を発見し、イメージ化することを広告表現と呼びます。広告の企画作業においては、生活者の欲求、本音、深層心理をどう読み取るかが大変重要です。それで、人の本質とは、本能とは何だろうかと考え、心理学や行動経済学、進化論、進化心理学といったことを学ぶようになりました。

悪徳商法はなぜ廃れないのか

なぜリフォーム詐欺にやすやすと騙されてしまう人が多いのでしょうか？ それは「返報性」といって、何かしてもらったらお返しをしなくてはいけないという非合理的な心理が働くからです。わざわざ、床下までもぐってくれたのだから…と契約してしまうのです。

CMは一方向的に情報を出すだけではなく、好か



れなくてはいけません。これにもやはり「返報性」がからんできます。面白いCMを見せてくれたからその商品を買おうかなと思うわけです。無料サンプルをもらったからもらいっぱなしではいけないという心理に働きかけたりもします。

そういう意味では、悪徳商法も広告も、人の「非合理的な心理」につけ込む点で同じと言わざるを得ません。では、悪徳商法と広告の違いは何かというと、商品を信じるか否かだと思っています。悪徳業者は商品がいいものではないと分かっているがゆえに、どうやって売るのがかを計算しているし、人の心理に付けこむことがうまいため、なかなか廃れずにはびこっていくわけです。

あなたを無意識に動かすもの

世界中の住居は同じ形式で、窓から外の様子はわかるけれど、ブラインドなどで外からは見えなくなっています。つまり「サバンナ」と同じなのです。サバンナには高い草が生えていて、天敵や獲物などからはうまく隠れ、外の様子をみることができます。人が発想するもの、創るものは、全てサバンナ時代のメタファーで、例えば、道路・物流は血管を、電話回線・光回線は神経経路、飛行機は鳥、自動車は動物の真似をしています。サバンナ時代の百万年に対し、文明ができて数千年です。非合理的な心理というのは、このサバンナ時代に培われてきた本能によるものだと思っています。

「CM」とは何か？

人間は動くものを見ずにはいられません。なぜなら動くものは天敵かもしれず、一番危険だからです。見て、敵ではないとわかったら笑います。CMも同じで、動いて注目してもらい笑ってもらう。昔、エリマキトカゲが大人気になった車のCMがありましたが、エリマキトカゲを認知してもらっても仕様がなくて、商品を知ってもらわなければ話になりません。興味をひきながら、どうやって商品を知り、記憶してもらうか、どうやって買うという気持ちになってもらうかということ、本能に基づいたものがギョッとほいっているのが、僕の創っているCMです。

もし自分がサバンナで暮らす原始人だったら

そう考えると、私生活でもいろいろな違和感をなくすことに役立つと発見しました。例えば、なぜ人は、手近なところで恋に落ちるのか？ …昔3つのタイプの人間がいました。ひとりは手近なところであのこはいいなと思う人、もうひとりは誰でもかれでもいい人、もうひとりは自分の理想のパートナーを探して世界を旅するような人。世界を旅する人は、見つからないまま死に絶えます。誰でもいい人は、優秀で健康的な遺伝子を残すことができません。一番効率がいいのは手近な中から一人選ぶことで、こういう人が子孫を残し、その末裔が僕たちなのです。だから、僕たちは未だにこの辺りで、「好き」になってしまうというわけです。

我々は、サバンナ環境に適した本能で都市環境を生きている。このちぐはぐさが「ストレス社会」の正体なのではないでしょうか。

ストレスのない人生を送るために

昔は必要だったけれど、今は不要という本能を、我々はたくさん備えていて、本能の取捨選択をしなければいけないというのが僕の結論です。例えば蛇恐怖症。噛まれた経験もないのに、蛇を怖がる…現代都市生活では不要ですがサバンナ時代には必要な本能でした。逆に僕たちはクルマ恐怖症にはならず、たくさんの方が交通事故で亡くなっています。そういった違和感の積み重ねがストレスの要因になっているのではないのでしょうか。

もともとは必要で、今も必要な本能は、愛・連帯といったものです。

人間の中の動物の部分と理性的存在としての人間の部分と、二つあるのだと認識すること——それがストレスのない社会、迷いのない人生につながるのではないのでしょうか。

【小霜和也さんのプロフィール】

北野高校93期。広告クリエイティブディレクター/コピーライター。東京大学法学部を卒業後、(株)博報堂を経て1998年に独立、現在no problem LLC. 代表、Help Button LLC. 代表。手がけた代表的な広告キャンペーンに、PlayStation、キリン一番搾りなど。2012年6月時点での担当キャンペーンはNTT 西日本フレッツ光、Reebok ZIG-TECH、クリナップ、武田薬品アリナミンゼロ7、キリン本搾り、など。広告賞受賞多数。著作に「欲しいほしいホシイ」（インプレス）。

トピックス

●六稜水友会30周年パーティー

六稜水友会会長 千種康一（88期）



2012年9月8日（土）ホテルプラザオーサカにて六稜水友会30周年パーティーを挙行了しました。北野高校楠野校長先生のご挨拶とTVでご活躍の水友会高野照子さん（101期）にも映像を交えてのトークショーをして頂き、80名を超える大盛会となりました。ご参加の皆様、お手伝い頂きました幹事の皆様、また日頃より六稜水友会にご支援を賜っている皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。

さて、六稜水友会の設立は1981年（昭和56年）と32年前になります。甲斐武彦初代会長（61期）を中心に戦前の北中水泳教師団の卒業生が現役を支援するという伝統を受け継ぎ北野高校水泳部のOB会として親睦と現役生への支援と指導を目的に新生スタートしました。その後中井正明さん（64期）、真砂泰三さん（66期）、桑原章二さん（79期）、小田滋晃さん（85期）と会長が代わり、8月のOB総会より私が大役を仰せつかりました。本来ならば一昨년이30周年となりますが、東日本大震災などで準備が整わず、昨年となりました。しかしながら会の運営がここまで続いた事は先にも申し上げましたが、会員皆様の多大なご支援のおかげであり、それに感謝し、更なる発展を祈念し幹事会一同で30周年のパーティー企画しました。

30周年と申し上げましたが、実は六稜の水泳の歴史は100年を超える歴史があります。パーテ

ィーのご案内を差し上げた大先輩からのご指摘が有りましたので、歴史を遡りますと、1892年（明治25年）の大阪尋常中学校校友会水上運動部としての漕艇と水泳がルーツとなります。水泳は堂島川で行なわれていたとのことです。その後1906年（明治39年）からは堺湊浜や大浜で水泳

訓練が行なわれ、1925年（大正14年）からは甲子園浜で行なわれたと有ります。一昨年発行の水友会名簿のトップは1904年卒（明治37年卒）の松尾謹一さん（17期）です。実際に六稜水泳の歴史は120年に、水泳部として110年に及ぶ事になります。水泳部と登録されている

卒業生は1065名にも及び、歴史も人数も他のクラブを大きくしのいでいます。特に1914年（大正3年）から水泳訓練に卒業生の「水泳教師団」が参加し、現役生の指導に当たったとのことです。今日の六稜水友会はそれを引き継いでいるのです。戦時厳しい中1943年（昭和18年）に生徒、保護者動員による竹筋の50m プールが完成し、プールを使用した水泳がやっと行なわれるようになったとのことです。戦後は1971年（昭和46年）に現在の公認50m プールが初代会長を初め多くの方々の努力によって完成し今日至る訳です。さすが北野、さすが六稜です。多くの先輩諸兄へ尊敬と感謝を致したいと思います。

現在、8月のOB会と総会、3月の新人歓迎会、5月の現役OB交流会を中心に活動しており、マスターズ水泳大会、オープンウォーター水泳大会への参加、時には関西空港開港記念遠泳等のイベ



ントもしております。今後益々の北野高校水泳部、六稜水友会の発展を祈念してご報告と御礼とさせて頂きたいと思います。
(追 パーティーにもお元気にご出席頂いた中井正明名誉会長(64期)が2012年11月19日に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。)

●六稜バスケットボールクラブ 第5回定期総会/懇親会

丸山 眞 弘 (85期)

今年は、4年に一度の夏季オリンピックの年、その年の11月3日は、六稜バスケットボールクラブ定期総会の日である。今回の総会の狙いは、4年前の創部80周年記念行事で強く実感した「横のつながりに加えて縦の繋がり」を、定期的に強化することであった。

61期～122期のOB・OG 90名が集まり、2012年11月3日(土)に定期総会が、開催された。

1. 恒例のOB・OGと現役との試合

毎年11月3日には、現役とOB、OGとの試合が実施される。この試合で若手OBに勝つことが、現役の今後の自信になる。今回も現役に期待がもてる試合内容だった。

40歳台後半のOG10名の参加によるOG戦も行われた。大きな怪我也無く無事終わり、「事務局がホッとし、他のOG・OBが元気付けられたOG戦」であった。また、新規に「フリースロー大会」を実施。OB・OGと現役が、フリースローの連続成功回数を競った。今回は、北野バスケットボール部との繋がりを実感する為に、「記念Tシャツ、トレーナー」をつくり好評であった。



2. 定期総会、懇親会(ホテルプラザオーサカ)

楠野校長、顧問の先生などの来賓の方々に参加いただき、総会を開催した。「80周年記念式典の開催、80周年記念誌作成」などの活動に貢献いただいた北村氏(63期)、上野氏(63期)に感謝状と記念品を贈呈した。

長年ご尽力いただいた正岡会長(63期)から坂野新会長(72期)への交代も含めた新体制も確認された。

懇親会では、歴代コーチと当時の選手が練習・試合でのエピソードを披露し、時間を越えた交流の輪が広がり、会場は大いに盛り上がった。締めは、校歌の大合唱により“心がひとつ”になった。

■今年度の定期総会は、バスケットボール部創部90周年にむけ、バスケットボール部活動の仲間が「横と縦」で繋がりを強める節目として大きな意義があった。

●故阿部醒石先生墨蹟碑除幕式

六稜同窓会事務局長 笹川 忠 士 (74期)

11月3日午前10時30分より母校正門東側で故阿部先生の墨蹟碑の除幕式が開催されました。当日は晴天に恵まれ学校関係者、合気道関係者、書道関係者、柔道関係者他多数の方々が出席されて盛大な除幕式となりました。まず六稜同窓会笹川忠士事務局長の開会の辞から始まり、六稜同窓会山本雅弘会長(71期)、北野高校楠野宣孝校長のご挨拶があり、そのあと阿部先生ゆかりの人々の手で除幕が行われました。

墨蹟碑の碑文:「合気とはよろづ和合のちから

なり たゆまずみがけ道の人々」

…合気道開祖、植芝盛平翁による合気道歌で阿部先生が生前大変好まれていた…

除幕後に各関係者からお祝辞を頂戴しました。最初に溝脇元志氏(96期 合気道部OB準備委員)より碑文選択と碑石選択の苦労話があり、次に菅正徳氏(69期 書道履修者)竹澤英代氏(73期



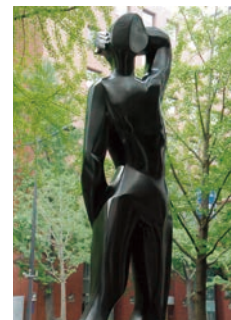
書道部OB)から阿部先生の思い出にまつわるお話、北野高校生徒自治会中島弘稀会長より現役生徒の心構えについてのお話を頂戴しました。最後に阿部先生のご子息の阿部豊雲先生から謝辞を頂戴し、全員で記念撮影後散会となりました。

●八軒家浜に燈籠を寄贈

学年理事 加藤 知 彦 (62期)



62期の湯浅富一君(近畿大学名誉教授)が大阪府に寄贈された燈籠が2012年7月、八軒家浜(大阪府中央区北浜東)に設置されました。八軒家浜は江戸時代に大阪と京都伏見とを結ぶ三十石船など舟運の拠点として栄えた所です。設置された石燈籠は幅1.7M、奥行1.7M、高さ4M、古文書などを参考にして、当



時の姿を再建されたものです。

湯浅君夫妻はこれまでも大阪の街作りに貢献されており、2010年には「御堂筋彫刻ストリート」にオシップ・ザッキンの「女のトルソ」(大阪ガスビル南)を寄贈しました。大企業からの寄付の多い「御堂筋彫刻」の中で唯一の個人寄贈です。

同窓会の皆さんもこの方面にお出かけの折には「八軒家浜の燈籠」と「御堂筋の彫刻」を合わせご覧になって下さい。

●「期別対抗ゴルフに対する82期の取り組み」

一対抗戦準優勝は通過点一

玉利 俊 彦 (82期)

昨年は瀬島雄二君のアレンジで82期のユニフォームを2種類作り、「今年こそは」と優勝を目指した。三年前は7位、二年前は5位と順位を上げて来ていた。本戦の一週間前には会場の「三田カントリー27」で練習ラウンドもこなした。結果、準優勝であったが優勝チームとは何と「0.8打差」。プロゴルファーが「1打差に泣く」ことも多くあるが、我々は「0.8打差」に、悔しさを滲ませながらも、来年の優勝を目指してファイトが沸いた。

北野高校を卒業して今年(2013年)で43年目を迎える。2年前から同期生が60歳になり、引続き仕事を続けている者、定年を迎え仕事から完全に離れ趣味やボランティアに時間を有効に使っている者、非常勤で働いている者など様々なタイプの人生の過ごし方が出てきている。60歳を前に少し時間の余裕も作れるようになり、同期生が集まれる機会が増えてきたのは5年位前からだろうか。

以前から同期生でゴルフ好きな気の合った者が集まりゴルフを楽しんでいたが、82期の幹事である田中俊明君が「期別対抗ゴルフ」の存在を教えてくれた。何と昨年で23回目、160人も参加する大コンペ。毎年、夏真っ盛りの暑い7月最終日曜日、場所は私のメンバーコースでもある「三田カントリー27」で開催されているとのことであった。これは「是非参加しよう」と気合を入れたが、参加初年度の四年前は順位資格が取れるチーム人数8人が集まらず、オープン参加になった。翌年からは上述の通り参加資格を得、昨年は18人(2チームで出場)と期別参加人数で最大のデレゲーションで臨んだ。



卒業後40年超の時間は長いようで短い時間であったことは、変化した髪の毛の量、顔の皺、年輪を重ねた話し方と見識、そして変わらない笑顔と酔った時のあどけなさや幼さから理解出来るように思う。でも皆の共通話題は、高校時代の厳しい授業（私にとって特に苦しかった音楽の時間）、断郊、中学校より短日数だった修学旅行、遠足後の歌声喫茶、学生運動などなどで話は尽きない。しかし、これからの共通の話題は健康、年金、孫になっていくことだろう。

この投稿文が掲載されるのは2013年3月号とすることで、期別対抗戦まで残すところ4ヶ月になっている筈だ。82期にとって今年は「必ず優勝」し、その記念に揃いのジャケットを作り、ディフェンディング・チャンピオンとして来年も連覇することである。山本博士君との優勝への傾向と対策、シミュレーションも終えている。しかし死角はちょっとテンションが上がりすぎていることかな。

●第24回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ
～卓球部4連覇なる？～

中 松 篤 志 卓球部（91期）

9月30日（日）三田カントリー27において第24回六稜クラブ対抗ゴルフコンペが開催されま



した。当日は台風接近が予想されておりましたが、柔道部、バスケットボール部、ラグビー部、サッカー部、硬式テニス部、卓球部、陸上競技部、混成チームの8チーム、52名（うち女性は3名、いずれも卓球部）の方に参加を頂きました。

10メートル先も見えない濃い霧と雨・風という悪コンディションのなか、なんとかスタートしましたが、かなり苦勞をしてのラウンドとなりました。午前のハーフラウンドだけで4時間

以上（通常は2時間半ぐらい）かかり、午後からはさらに風雨が強まる予想ということもあり、大会は午前のハーフで打ち切られました。スコアも低調で、ハーフで50を切った方はわずか11名でした。

個人優勝は北さん（柔道部、77期）、グロス賞は磯島さん（サッカー部、85期）がそれぞれ獲得されました。

チーム戦では混成チームが優勝でしたが、大会規定により2位の卓球部が繰り上げ優勝となりました。これで卓球部は4連覇を達成したわけですが、4度のうち2度が繰り上げでの優勝と曲がりながら連覇継続中です。

期別対抗コンペとは違って、クラブ対抗コンペは先輩、後輩がチームを構成しており、縦のつながりを強く感じる大会です。ぜひたくさんの方にお声がけ頂いて多くのチームにご参加頂けたらと思います。

次回は平成25年9月29日（日）三田カントリー27で開催されます。

2013年期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第24回六稜期別対抗ゴルフコンペ
日時：2013年7月28日（日）
場所：三田カントリー27

2013年クラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第25回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ
日時：2013年9月29日（日）
場所：三田カントリー27

東京六稜倶楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

日 時★毎月（第3）水曜日
11:00開場 11:30開演（約2.5時間）
会 場★ライオン銀座クラシックホール
（銀座ライオン7丁目店6F）
会 費★2,000円（ランチバイキング付）
主 催★東京六稜会
事務局★松本邦宏@70期/細見裕子@77期/山上芳昭@79期

3月20日 第123回 大門孝二さん@79期
（元 IHI Philippines 社長）
「フィリピン諸々」



六稜トークリレー BestSupporter 賞・受賞者の顔ぶれ

会館催事委報告

田 中 浩 作（71期・会館催事委員長）

社会の第一線で活躍する同窓生を講師に招請し、その意義深い中味を通して世代間交流を深め、それを一般市民にも広げ、地域社会にも貢献しようと2003年9月に開始したトークリレーも昨2012年9月で100回を迎えました。たかのてるこさん（101期）を講師に迎え、1年前から計画し、お願いしてやっと調整が付き実現しましたが、直前の帰国、すぐに海外へ飛び立つ…という慌たしさでした。お話はテレビ等で見たとおりの気さくで面白い中にも感銘を受けるものでした。

冒頭の山本会長の挨拶では100回を迎えたことについての感謝と共に、ITを駆使して情報の収集・デジタル化に尽力した寿栄松委員（74期）、同じくグラフィックデザインを主としてマルチメディアの編集でトークリレーの開催を支えた谷副委員長（98期）、茶菓子の提供・受付・会計等を担当する稲垣委員（71期）をはじめ女性



BestSupporter 賞を受賞する稲本さん



100回記念講演の講師たかのてるこさん（101期）



トークリレー100展・展示の様子

六稜トークリレー

Rikuryo Talk Relay

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

日 時★原則、毎月（第1）土曜日
13:30会場 14:00開演（約2時間）
会 場★六稜ホール（六稜会館3F）
※1Fロビーも同時使用可
会 費★500円（お飲み物を準備しています）
主 催★六稜同窓会
共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など

4月6日 第106回 大西堂文さん@70期
「人と動物との絆」
5月11日 第107回 勝村義和さん@71期
「佐伯祐三へのオマージュ（仮）」
6月1日 第108回 増田周子さん@99期（懸賞対象）
「従軍作家の見た戦争
～火野葦平『土と兵隊』を中心として」
7月6日 第109回 家 正則さん@80期
「30m 望遠鏡で見る宇宙（仮題）」
8月3日 第110回 小松雄爾さん@97期（ECN研究員）
「エネルギーの歴史とこれから（仮）」
9月7日 第111回 講師未定
10月5日 第112回 講師未定
11月9日 第113回 島本慈子さん@82期（文筆家）
12月7日 第114回 定藤規弘さん@88期（脳科学者）

陣に対して労いの言葉がありました。

また、100回記念事業として、六稜トークリレー BestSupporter 賞を設定。参加回数の多い会員に感謝状と副賞を贈呈させて戴きました。受賞者は次の通り。金賞：稲本満寿雄さん（54期）・尼崎孝雄さん（58期）、銀賞：橋本修さん（58期）・則松照也さん（58期）・大岩重雄さん（60期）・河原昭子さん（64期）・辻村善生さん（90期）、銅賞：河淵清子さん（64期）・栗原敏子さん（73期）・岩淵修さん（80期）・井根甘祐美さん（103期）、特別賞：勝又光子さん（一般）。

また、各方面から「もう一度観たい」と希望の多かった告知ポスターと、講演終了後の恒例となった集合写真とを併せて、全100回分の記録すべてを併設展示もいたしました。

トークリレーの開催数はいよいよ三桁に突入しましたが、まだまだ続けてまいります。催事委員会も頑張りますが、何よりも同窓会員皆様の応援が必要です。どうか今後とも、ご協力ご支援を賜りますようお願い致します。

10月20日(土)行列のできる就活相談所&若手交流会 開催報告

今回で 6 回目となった「行列のできる就活相談所&若手交流会」。例年より 1 ヶ月早い10月20日（土）に開催しましたが、学生、内定者、社会人合わせて78名の方に参加していただきました。参加者より当日の感想をいただいたので、紹介いたします。

【学生の立場】121期 女性

今回初めて FR 委員会のイベントに参加させてもらいました。まだ就職活動も本格化する前で、働くということに漠然としたイメージを抱いていたのですが、先輩方の様々なお話を伺って、自分にとって仕事とは何かを考える良い機会になったと思います。

第 1 部の就活相談所では、これから就職活動をしていく私にとって、内定者の先輩方の経験談がとても参考になりました。



第 2 部の合同イベントでは、文

理・志望業種に関係なく、様々な仕事に就かれている先輩の話が聞けたことが印象に残っています。仕事の内容ややりがい、人事の方には聞きにくいような話もしていただいたり、同じ大学出身の先輩を発見したりと、とても盛り上がりました。一緒に参加した友人たちとも、大学生活の話や就活に向けての話ができて、今後始まる就活にむけて、自分が以前より前向きになったように感じました。

また、今回は運営のお手伝いもさせていただきました。社会人の先輩方の中に飛び込むのはなかなか勇気がいりましたが、委員の方々は本当に気さくで、イベントに向けての準備でも就活生の視点からの意見も積極的に取り入れてくださったり毎回楽しかったです。今後もこのような北野高校卒業生のつながりを生かすイベントを FR で作っていきたいと思います。

【内定者の立場】118期 女性

内定者として、昨年就活生として参加したこのイベントに再度一部から参加し、社会人未満就活生以上の立場としてとても貴重な体験させて戴きました。

第一部では、「働くとは」という FR 委員会からの命題の下、就活での経験や、その経験を通して考えたことなどを中心で行われたグループディスカッション形式にて話しました。就活を終えてから久々に就活について再び振り替える機会を得たことで 1 年前の自分自身が思い起こされ、一年後輩の就活生がとても懐かしくも可愛く感じられました。途中で行われたグループディスカッションでは私自身も混ざって戴き、それぞれの考えを傾聴することで刺激も得ることができました。

第二部では就活生以上社会人未満の内定者として、ときに就活生と一緒にになって社会人の先輩から現実社会について経験をふまえた話を伺い、またあるときは就職活動を終えた先輩として経験談や自身の考えや業界に特化した情報など、でき得る限り話したりとめまぐるしくも楽しいひと

ときを過ごすことができました。

たかが就職活動ですが、されど就職活動です。

「就職活動をいかに上手にやり過ごすか」ではなく、就職や将来など人生について様々なことを考える良い機会と捉えて「仕事とは何か」「働くとは何か」と自問自答し続けて戴きたいと感じました。

きっと、就職活動に考え抜いたことは将来にも大きく影響を与えることと思います。また、このイベントがより認知され社会人の方の参加者が増えることを期待します。就活生に仕事や人生、将来、転職、働くとは何かと質問攻めにあってみてください。きっと与えるだけではなく「何か」を得ることができると思います。

最後になりましたが、FR 活動を行っているスタッフの方々の多忙ぶりからは想像できないフットワークの軽さと行動力に尊敬と感謝を述べたいと思います。ありがとうございました。



【社会人の立場】116期 女性

1. 六稜生の意欲の高さとポテンシャルの素晴らしさ
理系でまだ進路を決めていなくても、まずは情報収集に来てみる、というような、自らを高め、幅を広げるために行動できる六稜生がニッポンの未来を支えて行くんだなと思いました。

就活においても、貪欲に情報を吸収して成長しようとする姿勢に六稜魂を感じました。

就活が厳しい、大変だと言われていますが、六稜生なら



きっと大丈夫だと思います。
2. 社会人の立場で参加してみたの感想
自分が新卒の時を思い出し、なぜ今自分はこの道を選んだのか、何のために今ここにいるのかを振

り返ることができ、私にとっても有意義な時間になりました。このような機会をいただき心から感謝しています。

人生は、大小問わず選択の連続でできていると感じています。改めて、私自身が就活生だった時悩んで選択した結果が今に繋がっており、振り返ってみると悩んだ時期や失敗かなと思うことも何一つ無駄ではなかったと思います。

また、これからの私の人生を恥ずかしくないよう切り拓いていきたいと思っています。後輩の皆さん、企画してくださった皆さん、良い刺激を本当にありがとうございます。

3. これから就活をする後輩の皆さんへ
とにかく、縁だと思うので、気になったら行動して、自分の感覚を信じて進んでほしいなと思います。
「成功している人は、その分たくさん失敗しています。」
私も自分に言い聞かせてがんばりますね！

< FR 委員会より >

FR 委員会では今後も40歳以下の若手会員を対象としたイベントを行います。随時、六稜ホームページやFacebook の【六稜 FR】北野高校若手 OB. OG！（20代・30代）のページにて告知いたします。ぜひご参加ください。

六稜同窓会会則

六稜 Web の六稜同窓会会則をご覧ください。

（名称と所在地）

第 1 条
本会は、六稜同窓会と称する。
本会事務局を、大阪府立北野高等学校同窓会館（以下六稜会館と称する）に置く。

（会員とその義務）

第 2 条
本会は、会員・特別会員をもって、組織する。
1. 会員は、大阪府立北野高等学校、ならびに、その前身校（以下母校と称する）の卒業生、および、これに準ずる者。
2. 特別会員は、母校の教職員、および、旧教職員。
3. 会員は別に定めるところにより、入会金及び年会費を納めるものとする。但し、4 月 1 日現在、満90歳以上の会員の会費は免除とする。
4. 会員は第17条に定める会員情報に変更のある時は、速やかに本会事務局に報告することとする。

（目的）

第 3 条
本会は、会員間の親睦をはかり、母校の発展に寄与し、あわせて、社会公益に貢献することを目的とする。

（事業）

第 4 条
本会は、第 3 条の目的を達成するため、総会・理事会・常任理事会・各委員会の開催、六稜会館・六稜 WEB の運営、会員名簿の作成、会報の発行、その他の事業を行う。

（経費）

第 5 条
本会の経費は、会費、寄附金、その他の収入をもって、これに充てる。

（会計）

第 6 条
本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終わる。会計事務は、事務局がこれを取扱い、前年度の収支決算および当該年度の予算は、常任理事会、理事会の承認を経た後、会報に掲載する。

（基金会計）

第 7 条
本会に六稜同窓会基金、「北野高等学校文化活動振興費」基金、教育環境整備基金を置き、別途定める六稜同窓会基金会計規則、北野高等学校文化活動振興費（八木彰一郎賞）規約、教育環境整備基金会計規則に従って運営する。

（役員、その職務、および、任期）

第 8 条
本会に、次の役員をおく。
1. 名誉会長 1 名 母校校長が就任する。
会長 1 名 常任理事会の推薦により会員のなかから選出し、理事会で決定する。
副会長 若干名 常任理事会の推薦により会員のなかから選出し、会長が委嘱する。
常任理事 若干名 理事のなかから選出し、会長が委嘱する。
なお、必要と認めるときには、常任理事会の推薦により会員のなかから、会長が特に委嘱すること

もできる。
学内常任理事 若干名 母校の教職員のなかから選出し、会長が委嘱する。
理事 若干名 第14条の規定によって推薦された会員を、会長が委嘱する。なお、必要と認めるときには、常任理事会の推薦によって会員のなかから、会長が特に委嘱することもできる。
監事 若干名 会員のなかから、会長が委嘱する。
顧問 若干名 必要に応じて会員のなかから会長が委嘱する。

2. ○会長は、本会会務を統括し、本会を代表する。
○副会長は、会長を補佐し、必要に応じて、その職務を代行する。
○常任理事、ならびに学内常任理事は、常任理事会を組織し、重要事項を協議し、執行する。また常任理事ならびに学内常任理事は原則として各委員会の委員長を兼務する。
○理事は、各年度会の運営をはかるとともに、理事会を組織して、重要事項を協議する。
また、理事は原則として各委員会の委員を兼務する。
○監事は、収支決算の監査をする。
○顧問は、会長、副会長、常任理事会の諮問に応ずる。
3. 役員の任期は、いずれも 2 年とする。ただし、重任を妨げない。

（名誉顧問）

第 9 条
会長経験者は名誉顧問に就任する。

（総会）

第 10 条
1. 総会は年に 1 回開催する。但し常任理事会が決議した時は臨時に開催することができる。
2. 総会では事務局長が事業報告を行う。

（理事会）

第 11 条
1. 理事会は、常任理事会構成員と理事でもって構成する。
2. 理事会は予算・決算・人事・その他重要事項について協議し、決議する。
3. 理事会は年に 3 回開催する。但し常任理事会が決議した時は臨時に開催することができる。
4. 理事が理事会に出席できない場合は代理の同年度会会員が出席することができる。

（常任理事会）

第 12 条
1. 常任理事会は、名誉会長、会長、副会長、常任理事、監事、顧問および事務局長でもって構成する。
2. 常任理事会は常任理事会構成員および事務局長より提出された事項について協議し、決議する。
3. 常任理事会は年 5 回開催する。但し会長が緊急を要すると判断した場合は持ち回りによる会議を開催することができる。
4. 委員長を兼務する常任理事が常任理事会に出席できない場合はその常任理事が所属する委員会の副委員長を代理出席者として指名することができる。

（委員会）

第 13 条
1. 本会に総務委員会、財務委員会、名簿委員会、会館催事委員会、広報委員会、FR 委員会、学内委員会を置く。
2. 常任理事会は必要に応じて、臨時の委員会を置くことができる。
3. 各委員会に正副の委員長を置き、別途定める六稜同窓会委員会規定の通り取り扱う。

（年度会）

第 14 条
会員は、各年度毎に年度会を組織し、理事 1 名（ただし、63期以降は、男女各 1 名）を選び、理事会に報告する。

（事務局）

第 15 条
本会に、事務局をおく。
1. 事務局には、事務局長のほか所要の事務局員を置く。
2. 事務局長は、常任理事会の推薦によって会長が会員のなかから委嘱する。
3. 事務局長の任期は、2 年とする。ただし、重任を妨げない。
4. 事務局長は、会長・副会長を補佐し、常任理事会、理事会ならびに委員会によって定められた事務を行う。
5. 事務局は、事務局長の指示にしたがい、本会の収支全般、本会会務についての議事録の作成、会員名簿の訂正、慶弔連絡などの事務を行う。
6. 事務局長および事務局員は別途定める就業規定に従って事務を行う。
7. 事務局は別途定める六稜会館利用規定に従って六稜会館の運営を行う。
8. 事務局は別途定める六稜文庫運営規定に従って六稜文庫の運営を行う。
9. 事務局は各委員会活動について円滑な推進のための調整を行う。

（会員の慶弔）

第 16 条 本会は、別途定める六稜同窓会慶弔規定に従って会員・特別会員の慶弔金を支払う。

（会員情報の取扱）

第 17 条
本会は会員情報（氏名、住所、電話及び携帯電話番号・FAX 番号、E-メールアドレス、勤務先・職業・所属、在校時のクラブ、所属するクラブ OB 会・OG 会の情報）の収集・利用・提供及び登録に関し、個人情報の保護に関する法律を遵守し、別途定める六稜同窓会会員情報規定に従うものとする。

（会則改正）

第 18 条
本会会則の改正は、理事会の議決を経なければならない。ただし、緊急を要する事項は、常任理事会が議決することができるが、この議決は理事会において承認を得なければならない。

附則

1. 本会会務の執行に関する必要な細則は、常任理事会の議決を経て、これを定める。
2. 本会会則について疑義を生じたときには、常任理事会の協議を経て、理事会がこれを決定する。

平成24年 9 月15日改訂

Party Reports

●56期のつどい

青木博（56期）

私達は昭和13年春に憧れの北野中学に入学し、四年終了者は同17年に、五年生は同18年に卒業と正に戦争の真っ只中を通り抜けて、戦後激動の社会に放り出されました。しかし、天下第一級の気概を基に六稜魂を夫々の立場で遺憾なく発揮して荒廃した我が日本の復興に青春の全てを捧げて来ました。この間、同期生の交誼は幸いな事に級友・緒方正名くん、細見 弘くん達篤志の方々の献身的なご尽力のお蔭で、傘寿を迎えるまで毎年「56期の会」を続けることが出来ました。その後、一応の「区切り解散」をすることになりましたが、旧交忘れがたく今度は故角 正夫くんの許に有志で春秋年二回の「つどい」を開催しようと相談が纏まり「56期のつどい」をもつことにしました。以来、米寿まで齢をかさねた仲間、大阪・東京と二手に分かれはしますが例年元気に顔を会わせてお互いの健康を確かめ合っています。今年も、5月17日に大阪・堂島の(株)中央電気倶楽部に元気者12名が集い、記念撮影、亡き友への黙祷、各員の近況報告を兼ねた挨拶と続き例によって歓談の場へと話題も尽きぬままに、あっという間の3時間が過ぎて福田 尚くんのリードで校歌“六稜の星のしるしを”を全員で力強く合唱し、次回を約して解散しました。「秋のつどい」は10月29日（毎年六稜同窓会総会の前後の日に実施）に場所を変えて、母校の近くのホテル・プラザ オーサカで開催し、13名がお互いに元気な再会を喜び合いました。



平成24年10月29日（秋のつどい）

●第66期有志会開催の報告

山田晋作（66期）



第66期同期会では、第2回有志会を、平成24年10月22日（月）12時から、西梅田の高層ビル30階にあるイタリアンレストラン「ポンテ ベッキオ」で行った。

毎年秋に行ってきた同窓会を、9クラス幹事輪番での開催が2巡した平成22年の段階で会員の意見を求めて、平成23年から有志会として行うことになったが、今秋、第2回有志会を同期生の喜寿祝という意味を込めて開催し、地元だけでなく、東京、愛知等からも参加者があり、昨年の40名をかなり上回る50名（男性29名 女性21名）が元気な姿を見せた。

会合は、幹事岩崎良和君の開催挨拶の後、連絡担当の足立理一君の乾杯の音頭で始まったが、イタリア料理とワインでおたがいに舌の回りもよくなって談笑が進んでいるところで、女性プロ歌手によるカンツォーネ独唱もあって、雰囲気さらに盛り上がった。

ほぼ2時間歓談が続いた後、同期生で六稜同窓会副会長の志甫 博君から六稜同窓会運営への協力要請等があり、最後に松岡茂雄君のリードで校歌斉唱を行って、来年の有志会開催と再会を約し、配られた記念品を手で散会した。

趣向を凝らして有志会を設営された幹事の岩崎、足立の両君及び水野瑛子さんに、心からお礼を申し上げ、次回を期待する次第である。

なお、配布の名簿では、同期の他界者は94名（男子73名、女子21名）で、連絡先不明者は44名（男子28名、女子16名）とのことであった。

序でながら、第66期では、恒例として在京者新年会を、毎年1月第3金曜日昼食時に、都内銀座7丁目のビヤホール「銀座ライオン」の6階クラシックホールで行い、毎回30名前後が参加し、新春を寿ぎ、歓談している。

●優雅に 華やかに 55周年を祝う

小林周子（69期）

御歳73－74歳のわが69期生は10月7日同窓会館にて卒後55周年記念同窓会を開催。盛大に行った50周年に勝るとも劣らない盛り上がりを見せました。

前々日より1フロビーに展示された「ひとりよがり自画持参展」には27名から40点近い作品（写真・書・絵画・俳句・短歌・手芸品・仏像彫刻・シャドウボックス etc.）が集まり大いに多才ぶりを発揮。

当日は恩師今仲先生を始め107名が出席。開会に先立ち25年前の昭和63年1月1日、花園ラグビー場での全国高校ラグビー選手権のDVDを放映。ベスト8進出の伏見工業高校との対戦でかの橋下徹 現大阪市長が力走した名勝負です。選手の中には同期の吉田・古畑ご夫妻の息子さんも出場していました。

総会開始。物故者への黙とう・挨拶に続き、「ロボットの居る社会」と題する秋下貞夫さんの記念講演。今やロボットは家庭では掃除機に、工場では人手の代わりに、又医療の現場でも…と全ゆる分野で活躍しています。二足歩行で歩いたり、走ったり、お茶を運んだり…とユーモラスな映像を見ながらの解説にあっという間に1時間が過ぎました。

記念撮影後「プラザ大阪」に移動して記念パーティ。はるばる福岡から参加の小林祥子さんの乾杯の音頭で開会、高瀬晴彦さんによる当時の懐かしの音楽の生演奏をBGMに 大いにしゃべり、笑い、お腹を満足させた2時間でした。

最後は恒例の大きな輪を作っての校歌大合唱と、菅さんの“フレイフレー”で締めくくり、次は60周年？否喜寿の祝いをと気炎を吐いて散会しました。

まだまだこれで終わったわけではありません。次の日西田農園で収穫祭、続いてゴルフコンペ、最後に石山寺・水郷めぐりと 紅葉を愛でる1



泊旅行で一連の記念同窓会は終わりました。
みんな元気！これからもこの調子で！！

●H24年70期同窓会をふり返って

屋良 正 佐 治（70期）



私たち、引き継ぎを受けた担当幹事組（7・8組）メンバー（総員12名）は、会場へのアクセスのし易さで、大阪駅前の「ヒルトン大阪」を選んだ。また開催日を11月3日にしたのは、晴天が約束される〈特異日〉だから。（この選択は好評だった）恒例の「卓話」は、獣医学専門で同期の大西堂文君（3組）による『動物と人との絆』。特色にしようとして決めたのが「寸劇」をやること。提示された台本が「仮題 お隣の同窓会」。60余年前の私たちと社会をふり返って、がその内容。原案は散々目にあった。「焦点が無い」「訴える点がはっきりしない」「台詞の言葉が固い」「長すぎる」。そのため、幹事が集まるたびに、修正があった。結局、各自の台詞は、大阪弁なり標準語なり、好きにすることになった。当日が迫って10月24日の午後、大淀公園の一角で、最初で最後の立ち稽古となった。100円ショップで調達した変身メガネをつけ、おもちゃの楽器を手にして一。通行人もいるのに、誰一人恥ずかしがらなかったのは、特筆ものだと思う。…さて当日、万が一のしらは杞憂となり、拍手があってホッとした。長々と、「寸劇」について書いたのは、これが、たびたびの幹事会での出席率がよかったことの大きな原因と思えるからである。メンバーの一人が言った。「寸劇がネタになったからな」。

皆がそれぞれの〈我〉を抑えて、協力し合える雰囲気を作ったことで、年に一回、当日だけの参加では得られない喜びがあったことを報告したい。

【特集】

今は無きクラブ 部活動は「青春」そのもの

六稜会報51号で“体操服の変遷”を取り上げた際、図書館で過去の卒業アルバムをめくり続けました。もう4年半ほど経ちますが、以来ずっと気になっていることがあります。それは、先輩方のアルバムの中のクラブ毎の集合写真に、名前だけではどのようなクラブか分からない…また自分たちの在学時には見なかったクラブ名が幾つかあったことです。

本号は、六稜会報60号という記念号の特集ということで、前号よりお知らせして参りました通り、「残念ながら今は廃部・休部してしまったクラブ」に焦点を当て、先輩方より伺ったお話、寄稿、提供頂いた資料などを中心にまとめました。同窓会事務局のクラブOB・OG会の確認作業ともタイアップしながら、クラブ活動の活性化・復活の一端を担えればと思います。

トップはグライダー部です。かつて、こんな部活動が存在したことを、何人の方がご存知でしょうか。

グライダー部 六稜滑空班の思い出

岡原 進（59期）

数ある北野中学校運動部の中で、もっとも短命だったのがグライダー部だったと思う。昭和16年5月、北野中学校・報国団・国防部・滑空班が設立された。大阪朝日新聞社から、初級滑空機・光式三型2機が寄贈され、北中第1号機、第2号機と命名。同年秋の運動会で5年生（55期）班員18名が、運動場ぎりぎり一杯使った滑空飛行を行い大きな反響を呼んだ。滑空訓練は校庭では運動場の練習があるので出来ず、日曜日に5キロ上流の、淀川北岸河川敷「豊里滑空場」で行った。今は太子橋が架かり交通も便利だが、当時は市内の班員は市電で太子橋に、更に「瘧し舟」に乗らねばならず、北部の班員は阪急京都線の上新庄駅からテクテク歩いて行くといった不便な場所にあった。

滑空機の操縦は、機首のフックにV字型のゴム索を引っ掛け、20人が二手に別れ、イッチニイッチニと引っ張り、パチンコの要領で飛ばすというもので、2時間引っ張って、やっと1回乗れるという全くシンドイ訓練だった。残された名簿には、55期18名、56期9名、57期14名、58期9名、59期7名、60期5名計62名の名前があるが、訓練がきついで、す

広報委員会
松田典子（95期）
中嶋明子（106期）

特集＋表紙デザイン
谷 卓司（98期）

ぐにやめた人もいたと思う。

短い北中滑空班史の中で、真田山滑空場での三級滑空士試験にパスした人もいた。花の57期生は、当時のトップモードのつなぎの白い滑空服で活躍し、滑空の指導も上手かった。初級機だったが、高度10メートルの滑空が出来るようになった。むき出しの座席で操縦桿を握る。「引け」ゴム索が、ぐんぐんと伸びていく。「離せ」やっと空に舞上がる。頬を切る風の音、流れる地面、わずか数秒の滑空だったが、その感触を今もふっと思い出すことがある。

昭和20年8月、敗戦と共に軍国主義教育廃止で、六稜滑空班は解散、北中第1号機と第2号機は、豊里滑空場で火葬されたが、その終焉を見守ったのは当時在校の60期2名だけだった。



▲グライダー部の訓練風景

次のこのクラブこそ、「名前からは全く活動内容が分からなかった」クラブです。読み方すら不明でした。昭和40年台半ばあたりまでの活動が確認されています。

HY（ハイY）部の思い出

東海林恭子（70期）

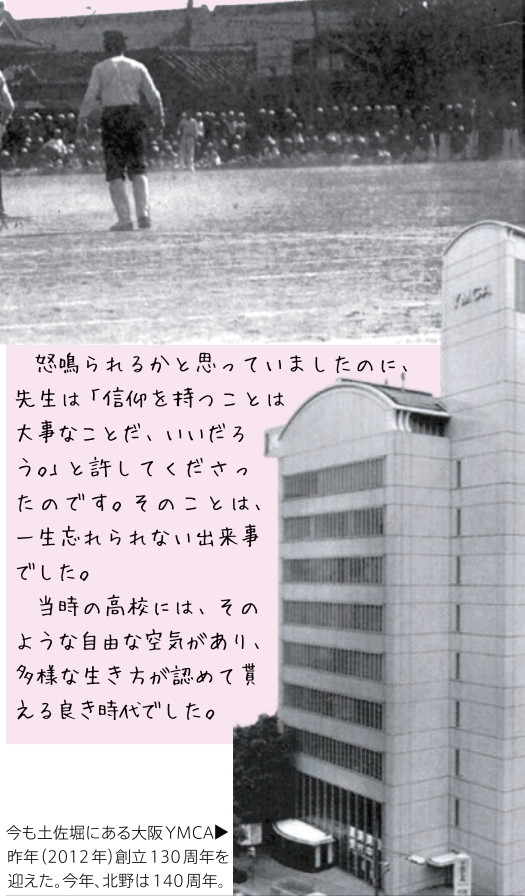
ハイY部は、High School YMCA の略で、YMCA はキリスト教青年会（Young Men's Christian Association）を意味します。ハイYは高校生男女のYMCA活動ということです。大学にも学Yがあり、同じような活動をしていました。

聖書研究や讃美歌の合唱、ボランティア活動等、当時は他校との交流も盛んでした。大阪YMCA会館（肥後橋）で大阪地区の高校の交流会があり、また年一回、

無線局一覧に掲載されていた無線部（物理研究部）▶ Y F Z 北野高校物理研究部・5325大阪府淀川区新北野2-5-13 北野高校物理研究部 電話(303)5661

全国大会が御殿場（静岡県）東山荘で開かれ（二泊三日）、全国から二百人近い高校生が集まり、早朝の早天祈禱会から始まって夜遅くまで語り合ったものでした。昭和の20～30年代は、敗戦後のアメリカの支配の影響もあって、多くの宣教師が来日し、キリスト教が盛んに伝道された時代でした。私は、近所に住む北野の先輩に誘われて、ハイY部に入り、教会にも行くようになってキリスト教に出会うことができました。教会生活は今も続けていますが、この世を生きる時、拠り所となる信仰が与えられていますことは、本当に幸せでした。年と共にそう思うようになりました。

現在の日本は無宗教の時代と言われ、キリスト教の信者も少なく、ハイY部も無くなって残念に思います。北野のハイY時代で忘れられない思い出があります。それは私が高校2年生の時、洗礼をうける決心をしたのですが、その日（世界大聖餐日）が運動会の日と重なり（今から言えば洗礼式を延ばしても良かったのですが）、一大決心をして、職員室へ行って担任の島田先生に「洗礼式が午前中にあるのですが、運動会をその時間休けてもいいでしょうか？」とお願いしてみました。



今も土佐堀にある大阪YMCA▶ 昨年（2012年）創立130周年を迎えた。今年、北野は140周年。

ごく限られた期間の活動が記録されている無線部。実際は物理研究部としての活動が始まりでした。

◎無線部

越智英昭（74期）

アマチュア無線クラブの最初は物理研究部から始まります。そもそも物理研究部にはラジオなど電気組み立てをする愛好家が多く、当然アマチュア無線に関心を持っている学生も多くいました。無線局開設には、アマチュア無線の無線従事者の国家資格が必要なのと無線局開設の許可が必要でした。学校でクラブ局を開設したいという要望で当時の郵政省（現在の総務省）に申請が行われ、クラブ局が開設されました。

アマチュア無線開設当時の無線局一覧にはその記録が残っています。当時は物理研究部として申請されていたようで、呼出符号としてJA3YFZが割り当てられています。ただ、物理研究部部員すべてがアマチュア無線の愛好家ではないので、次第に物理研究部から分かれてアマチュア無線としての同好会に発展したようです。主に秋の文化祭の時に無線運用が行われていました。

しかし、インターネットや携帯電話が盛んな現在、クラブ局はすでに廃局になっています。

ソフトボール部は2000年を過ぎてから活動を休止しています。

◎ソフトボール部と稲葉先生

小西 望子（69期）

高田早智子（70期）

ソフトボール部の顧問だった稲葉先生のことを思い出さとき、まず私の脳裡に浮かぶのは、池田に所在する宣真高校とのある時の試合です。宣真高校は強く、北野はなかなか勝てなかった。当時の宣真のピッチャーは、腕をぐるぐる回して速球を投げてるので、私達は太刀打ちできなかった。ところがある日の試合で、そのピッチャーの投球が3球に1球は緩くなることを稲葉先生が見抜かれた。それで打者に「次のボールだ」と指示されてホームランを出し、北野が勝利しました。忘れられない思い出です。

先生にはよくノックをしていた。69期のメンバーは少なかったのですが、70、71期の入部により



◀昭和50年度の大阪府
高校ソフトボール大会で
稲葉先生を囲む北野ナイン

2001年177号で休刊となるまで、学校側とのトラブルはしばしばでした。

部室は、いつも“ブン屋のガラクタ”(自称トロッコ)と呼んでいた部員たちの、飛び交う議論や熱い編集談義で、活気あふれる空間でした。



メンバーが増えて国体の予選ではベスト8に入ったこともあり、大手前高校との定期戦にも優勝しています。

顧問の稲葉先生、岡田先生の指導の賜物です。



昭和31年の
大手前戦▶

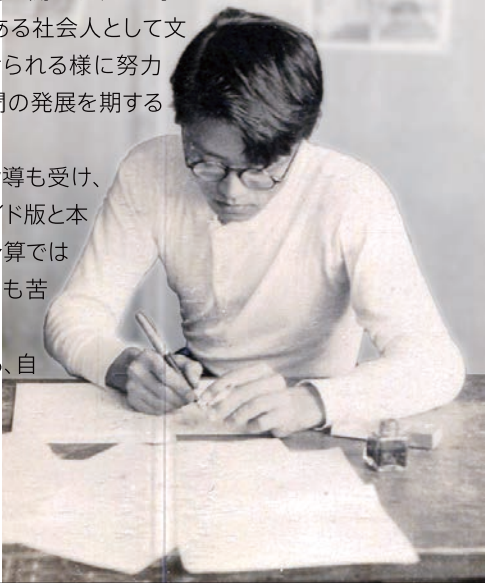
新聞部の発展期に活動された島村俊行さん(66期)に、お話を伺うことができました。

【新聞部】

『六稜新聞』の創刊は、昭和22年(1947年)2月1日。この創刊号には、「日本再建の至純なる原動力としての若い世代の責務を自覚し、その原動力を育て上げるのが教育でなくてはならぬ。」「『六稜新聞』によって、我々が大きな世界へ目を開かれ、且つ学生としての反省せしめられ、常識ある社会人として文化人として自我に目覚めさせられる様に努力していかなばならぬ。」と、新聞の発展を期する強い決意が記されています。

先輩を訪ねて新聞社での指導も受け、新聞の体裁も、活版にタブロイド版と本格的になりました。生徒会の予算ではまかない切れず、資金集めにも苦労したものです。

「自分たちの、自分たちによる、自分たちのための新聞」を目指し、それぞれの得意分野を生かして、紙面づくりに努めました。学校当局との衝突もあり、新聞発禁という事態も経験。



活版刷タブロイド版の本格紙面▲



写真撮影も報道の基本▲

◀ブン屋のタマゴ、悪戦苦闘中!!

これまでのクラブとは、成り立ちや意味合いが少し異なるのが図書部です。三代目部長の阪田喜秋さん(63期)にお逢いできました。

【図書部】

戦前には級長と同様に学校から任命された図書委員がありました。六稜会報58号の特集でも紹介しましたように、昭和20年(1945年)の大阪大空襲で当時の図書館が焼失し、その後の新制高校発足、教室の図書室改造に合わせて部活動としての図書部が創設されました。初代部長は戦前の図書委員が務め、部員は公募で、併設の中学生を含めて十数名でのスタートでした。

当時の主な活動は次の3つ。一つ目は図書の購入で、新刊購入はもちろんのこと、古書の購入については書店での購入だけでなく、十三商店街の書店(十三書房?)のご主人と一緒に、古書の組合員間で開くオークションに参加するという貴重な体験をしました。二つ目は購入書籍の分類で、書籍の背面に分類ラベルを張り付けるだけでなく、盗難時の備えとして、隠し印を押印したという思い出もあります。今も図書館の蔵書に隠し印を見つけることができるかもしれません。三つ目は図書貸し出し業務で、授業終了後から8時半あたりまで、長い時間を生徒が対応しました。

図書部員の特典としては、新規受け入れ図書を優先的に閲覧でき、購入に際しても意見が反映され、いろいろな全集を読破したことです。

図書室開設準備のため多忙を極め、開設後は貸出業務を全般的に部員が行い、いわゆる読書サークル



的なクラブではありませんでした。ですから、図書館司書の方が赴任されると、図書部としての任務は終えることとなりました。

六稜会報58号の特集では、古書の購入は先生方だけが奔走されたように伝わったかもしれませんが、実際には生徒たちも先生の手足となり出かけていたのでした。戦後の図書部の活躍があってこそ、蔵書数が確保され、昭和図書館→平成図書館へとつながっていることを、改めて感謝いたします。

真剣に取り組んだクラブ活動は、有形/無形の多くのものを得、決して消えることのない心の支えです。原稿をお送りいただいた方々、取材に応じて下さった方々に心より御礼申し上げます。これを機にOB会・OG会を計画されてはいかがでしょうか？

今回は6つのクラブをご紹介しました。今後も継続して皆様からの情報を募集いたします。当時のお話、また、今思うところや在校生へのメッセージ等いただければと思います。取材にも伺います。連絡をお待ちしております。

表紙解題～文化芸術祭(舞台発表部門)

クラス対抗合唱コンクールを主体とする「音楽フェスティバル」と体育科主催の「ダンス・ダンス・ワールド」(2年女子の創作ダンス発表)から成る。今年の音楽フェスティバルでは、最優秀賞＝2年3+4組、優秀賞＝2年1+2組、1年最優秀賞＝1組、ときめき賞＝1年7組がそれぞれ受賞。また、オーケストラ部の演奏において“流木バイオリン”が用いられることとなった。これは東日本大震災の津波で流された木材を使って作られたもので、震災の記憶を引き継ぐために10年間で1000人を目標に全国でリレー演奏されているもの。

なお、舞台発表の様子はビデオ出版されているが、原則、出演者のみの頒布なので卒業生の購入はできない。また、文化芸術祭は、このほかに展示発表部門(美術科・書道科・家庭科)があり、同じ時期に六稜会館1階で実施されている。



▲昭和23年頃の図書部員

Party Reports

●「六稜さんご会」の総会

浅野紀夫（72期）

六稜同窓会の昭和35年卒業生の会合として「六稜さんご会」が発足して五十年余り、当初は5年毎に、やがて3年毎になり今回から2年毎に開催することになりました。学年幹事を順番制で引き受けた1組が主担当し、各クラス幹事がサポートする体制で1年前から準備してきました。2012年6月2日に前回に引き続きANAプラザホテルで開催の運びとなりました。

恩師の山根為雄先生（国語）、野々村博先生（体育）のご参加を頂きました。昭和33年（1958年）北野高校に入学したその年に、両先生も赴任されました。六稜さんご会の全員古希を過ぎておりますが、元気に参集された方は114名に上っています。参加者は宴会場に案内して頂いても、会員同士の懐かしい話の語らいでホールに入らない状況でした。

1組の吉永君の軽妙な話術の司会で、幹事挨拶や故人のご冥福を祈りました。卒業時は450名の会員でした。住所不明や鬼籍にはいられた方々で390名弱の会員となりましたが、半世紀に亘っていることを考えると元気にまとまっていると思います。

山根先生のご挨拶や野々村先生の乾杯の音頭でスタートしました。十代後半に過ごした高校生活の思いをはせるのは止まれる時を与えてくれるこの機会とばかり、十数卓から其々に賑やかな会話が始まりました。

この学年は1940～42年の第二次世界大戦開戦前後に生まれ、戦後の食料難の時代に小中学生時代をすごして北野高校に入学してきましたので粘り強い生徒が多かったように思われます。昭和35年に卒業しましたが、直ぐに社会人として活躍された方々も多くありました。各クラス1名



が近況報告や六稜のこと、尺八演奏や発声法などのパフォーマンスがあり多彩な一面を見ることが出来ました。

疲れも知らず大いに楽しんだ2時間でした。今回は2年後に開催することで2組への引継ぎの挨拶と校歌斉唱（写真）で終宴しましたが、各クラス別や仲間は三々五々に北新地などに別れていきました。

＜追記＞六稜さんご会では、ゴルフコンペ、大阪街歩き、飲み会、又、東京や千葉での会合が盛んに持たれています。

●74期同期会報告

芦田 譲（74期）



74期は、昭和37年に卒業してから、今年で50周年を迎え、記念イベントを催しました。

まず、11月17日（土）に六稜会館において、60名の参加を得て、「我々の歩んだ50年」と題した座談会で8人が各自の足跡を紹介した後、質疑を行いました。同時に、書籍、写真・俳句、北野高校にまつわる収集品等を展示しました。その中で、3年時の模擬試験問題や、春と秋のハイキングの案内状は圧巻でした。その後、会場をプラザオーサカホテルに移し、総会、懇親会で詩吟等の披露もあり、50年前を懐かしんで大いに盛り上がりました。

翌18日（日）は晴天に恵まれ、30名の参加を得て、「50年目のハイキング」を挙行了しました。平城宮、薬師寺、唐招提寺を回ったところで予想外に時間が経過し、予定の興福寺に行く余裕がなくなり、西大寺の居酒屋で二次会を開き、来年の北野高校140周年の記念イベントに合わせての再会を約して散会しました。

●89期同窓会

高木直史（89期）

平成24年9月16日に池田市の「不死王閣」において、89期（破竹の会）同窓会が開かれました。幹事長の西田吉直君が皆の要望に応えようと、夕方の総会・宴会のみ、夜のカラオケまで、そして、宿泊もという三つのプランを用意してくれました。おかげで、北は北海道から南は鹿児島まで、110名（うち女子60名）の参加を得ました。

午後2時半頃から集まり始め、温泉入浴や歓談を楽しみ、午後5時から総会・宴会が始まりました。司会は、いつもの梅本州一君と矢埜恵子さんの名コンビです。物故者に黙祷を捧げたのち、西田幹事長の挨拶等があり、乾杯へと移りました。歓談の後、次期幹事長の選出になりましたが、あちこちから自然発生した声に推され、橋本淳君が快く引き受けてくれました。西田幹事長から橋本新幹事長への「幹事長たすき」の引き渡し式の後、橋本新幹事長の挨拶があり、全員で新幹事長をサポートして同窓会を盛り立てていくことを誓い、最後に全体写真を撮ってお開きとなりました。

二次会には、90名が参加しました。カラオケでしたが、歌はそっちのけ？で、歓談が続きしました。最後は89期の恒例となった肩を組んでの「時代」の大合唱で盛り上がりました。宴はまだまだ続き、宿泊コースの64名（うち女子33名）の多くが、三次会に集まりました。お開きになったのは1時半頃でした。翌朝も、大部屋に集まり、歓談や写真撮影が続きしました。3年後に次回同窓会、更にその3年後に「還暦同窓会」を開くことになりましたが、待ち切れない人達は、さっそく、「道



後温泉ツアー」を企画していました。「破竹の会」の団結とパワーを再認識した2日間でした。

●卒業30周年同窓会開催

西畑宏昭（94期）



平成24年8月22日（土）に94期の卒業30周年記念同窓会が127名出席で開催されました。94期の学年同窓会は5年ぶりです。

目玉は、何といてもUstreamによるライブ中継とskypeによる海外からの2名の参加でした。やむなく参加できなかった方にも会場の様子を届けたい、海外在住の友人とも心を繋ぎたいという幹事の思いは達成できたように思います。

また、今回は歓談中心の進行としました。松田先生・猿田先生・寺井先生と3名の恩師の方々に参加くださいました。我々との歓談の輪の中に入っただき、参加者は高校時代の気分。後半は近況報告をした後、次の話者を指名して話をつなぐ回覧板的トーク大会を実施しました。ごく最近の結婚報告など、楽しい話題が沢山で、大変盛り上がりしました。

その後、二次会が105名、三次会が51名出席。話は尽きず、夜更けまで楽しく過ごすことが出来ました。

一緒に同窓会の盛り上げを企画してくれた世話役の皆さまに改めて感謝いたします。

今年94期は六稜同窓会140周年記念同窓会の世話役を拝命しております。この94期の仲の良さを同窓会の運営に活かしていきますので皆様のご協力をお願いいたします。

●101期同期会報告

古木 賀子 (101期)



クラス横断的な集まりは20年ぶりでしたが、101期63名が集まりましたので報告します。

今回は、同期の「たかてるこ」さんが100回記念のトークリレー（2012年9月8日開催）で講演されることにかこつけて応援もかねて集合しました。場所は高校内の食堂。

我々の学生時代は「ティー」と呼んでいたのに今は通じず…。ティーあらため食堂にお願いし、ノンアルコールビールで20年ぶりの再会に乾杯！

当日は鎌田先生、八尾先生、中井先生、寺井先生が来て下さり、冷房もなく蒸し暑い中、硬い椅子に座りながら先生方の講話をお聞きしていると、気持ちはあっという間に高校時代～♪高校時代はあまり親しくなかった者どうしても、同じ空気で育ってきたこともあり、話題が尽きることはありませんでした。これぞ同期会の醍醐味！

今回参加されなかった方はぜひ今年11月開催予定の101期同期会の本番にご参加ください！

●北野108期 全体同窓会 報告

黒 飛 一 志 (108期)

開催日時：2012年8月18日（土）

場所・人数：1次会@六稜同窓会館

参加者 121名 先生 7名

2次会@天津閣

参加者 52

名 先生

3名

※1次会参加していた先生方 村島先生、安藤先生、矢作先生、三輪先生、田中清道先生、高橋先生、今



村先生

※2次会参加していただいた先生方 上田守先生、安藤先生、飯尾先生

私たち、108期は今年で卒業16年目を向かえました。

準備期間が短いにもかかわらず、クラスへの連絡を担当してくれた方々が本当に素晴らしい行動をしてくださり、素敵な同窓会を開催することができました。クラス連絡をして下さった皆様、本当にありがとうございました。

当日は、僕の挨拶からさせていただき、安藤先生の乾杯とともに始まりました。次に先生方のスピーチをしてもらいましたが、懐かしいトークに笑顔がこぼれました。

その後、プロデビューをしている、谷修（たにしゅう）が歌を披露してくれ、会場が盛り上がりしました。最後の1時間は六稜同窓会の地下1階のギャラリーに保管されている数々の展示物を見る時間も作っていただきました。

あっという間に3時間が経ち、最後には、全員で校歌を歌い、全体写真を撮影、再度、先生方からのメッセージをいただきました。

みんなが久しぶりに何の利害もなく、楽しい思い出を話せる仲間に久しぶりに再会することができて、本当に嬉しかったです。懐かしい思い出とか、あのときのピュアな気持ちを思い出すことができました。卒業してもつながりを持つことのできる、この北野高校で勉強できて、心から良かったと感じています。これからもみんながつながれる同窓会をしていきたいと思います。

総幹事をしてくれた内海さん、大河津さん、岸田くん、本当にありがとうございました。他にもたくさんの方の協力で成功することができたと思います。ありがとうございました。

今後、108期は定期的に同窓会を開催することに決めました。次回は4年後の卒後20年目の2016年8月20日（土）に同じ六稜同窓会館で全体同窓会を行う予定です。

●111期同窓会（第4回）

松岡 信 道 (111期)



世界一を目指してメダルラッシュに湧いた2012年。一番にこだわるオリンピックイヤーに学年全体の同窓会を開催することになったのは何かの縁でしょうか、平成11年卒業の111期。399名が卒業し、入学時の定員（400名）から1人欠員しているのも知っている人は知っています。12月30日、北野高校六稜会館において、卒業から4回目の学年同窓会を開かれました。

当日は授乳室を設けるなど子育て世帯へ配慮した同窓会となり、昼間からスタートしました。99名が集うなか、加戸健太郎くんの司会進行ではじまり、世話人代表の池田直弘くんの挨拶の後、

軽食をとりながら懐かしい時間を過ごすことができました。井上芳恵くんが、マイクタイムをつくってくれて、それぞれの分野で活躍する同期の近

況を知ることでもできました。結婚、子育て、転職、転勤など、生活環境が変わっている人が多かったと感じました。同窓会開催にご尽力してくれた世話人のみなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

18時には終了し、その後は十三の居酒屋で4次会まで続けました。次回はリオデジャネイロ五輪の2016年です、みんなで集まれるように転居の際は六稜同窓会事務局まで連絡してください。111期のfacebookページもありますので、ぜひ参加してください。最後になりましたが、開催にあたりお手伝いいただいた六稜同窓会事務局の皆様 に心より感謝申し上げます。111期同窓会が第11回を数える時、私たちは還暦を迎えます。その2040年は大阪でオリンピック開催、いい初夢でした。

六稜カルチャー講座のお誘い

万葉集に親しむ 山崎 馨先生
英文学の名作の旅 佐野哲郎先生

1月25日（第4金曜日）	万葉集に親しむ	10月25日（第4金曜日）	英文学の名作の旅
2月15日（第3金曜日）	英文学の名作の旅	11月	休 講
3月22日（第4金曜日）	万葉集に親しむ	12月20日（第3金曜日）	英文学の名作の旅
4月26日（第4金曜日）	英文学の名作の旅		
5月	休 講		
6月28日（第4金曜日）	英文学の名作の旅		
7月	休 講		
8月23日（第4金曜日）	英文学の名作の旅		
9月	休 講		

○各講座とも2時より開始。
○会場は六稜ホール（六稜会館3F）
○会 費 ￥500
○お申し込みお問い合わせは
☐office@rikuryo.or.jp

ご存知ですか？



一度、六稜 Web を経由して amazon.co.jp でショッピングをした場合、購入代金の数%が Amazon 社から六稜同窓会へ寄付されます。

本を売価で買って、著者を応援し、同時に母校への還元にもなる……ちょっと「いい気分」なプログラム。ぜひ、ご協力ください！（書籍以外の商品もすべて有効です。）<http://rikuryo.or.jp/books/amazon-associate/>

いますぐクリック→



初めての同期会

●第 1 回121期同窓会

同窓会学年幹事 竹下友人・山本紗弓（121期）



2012年12月27日、121期初めての同期会を六稜会館で開催し、懐かしい顔ぶれの約160人の仲間たちと再会することができました。

同期会の開催にあたって10月半ば頃から同窓会事務局の方々にご協力をいただき、同窓会幹事のメンバーと共に企画、運営に励みました。4年ぶりに全体で集まるということで、皆が楽しめる、懐かしめる場所にしようと思気込んで準備を始めました。しかし、準備を進める中でわからないことばかりで同窓会事務局の方々には本当にご迷惑をおかけしました。ハガキの準備から印刷まで手際よく進めて下さり、このような体制が整っているからこそ毎年同期会が実行できるのだと北野高校を誇りに思いました。当初どれほどの人数が集まるかと心配したこともありましたが、杞憂に終わり、沢山の方にご参加いただきまして同窓会幹事一同、嬉しく思っております。

当日はお菓子和ジュースを片手に、大きく映し出されたスライドでクラス対抗のクイズ大会を実施しました。全て北野高校にまつわる問題で、それぞれの部活動の人数や2年生の体育大会での仮装の演目、校歌の歌詞の穴埋めなど懐かしい話題が盛りだくさん！来てくださったいた各クラスの先生方も交えて大盛り上がりでした。

上田先生からはじめにお言葉をいただいた時には、今話題を集めている橋下市長のお話もありました。日本の中心となり、様々な問題に対して率先して動いていく姿勢には見習うところがあると感じます。上田先生が橋下市長を教えていらっしゃる頃のお話もして下さって、今年から社会に出ていく仲間たちが大勢いる中で、出身中学でも出身大学でもなく、北野高校という名前を背負って社会に出ていくことを改めて実感し、身が引き締まる思いでした。

私たち121期は今年で23歳を迎えます。学生として将来を見つめ、就職活動に励む仲間がいれば、勉学を極めようと進学を決めた仲間もいて、社会人として様々なフィールドで活躍していく仲間もいます。そんな尊

敬し合える素敵な仲間たちとのつながりが途切れないようにしようと改めて強く感じました。

最後になりましたが、参加して下さった121期のみなさんそして先生方、運営に関わった同窓会幹事のメンバー、久保田さんをはじめとする同窓会事務局のみなさん、本当にありがとうございました。

同期会など予告

●60期同窓会

日 時：平成25年 5 月 8 日（水）12：00～14：00

場 所：ウェスティンホテル大阪

大阪市北区大淀中 1 - 1 - 20

T E L：06-6440-1111

連絡先：幹事代表 太田元治

TEL：06-6991-5495

多数のご参加をお待ちしています。

詳細は送付案内状をご参照願います。

●95期同期会

5月25日（土）13時30分より

六稜ホールにて

3月下旬に案内状発送予定です。

●101期同期会

101期卒業25年目記念同期会告知!!!

日 時：平成25年11月23日 土曜日

場 所：北野高校 & ホテルプラザオーサカ

（予定。詳細は次号に載せます！）

北野101期のメーリングリストに参加すれば、101期情報が随時配信されます。もちろん同窓会の案内もメールで受けられます。懐かしい同期の最新状況も時折配信されます。ぜひ、ご登録ください。すでに101期の半分以上の人が参加しています。

登録を希望される方は、

kitano101@gmail.com 宛に、メールを送ってください。

氏名（旧姓も）と、登録を希望されるメールアドレスを明記してください。幹事で登録作業をさせていただきます。

101期同窓会理事

林大輔（3-4）、古木（旧姓田中）賀子（3-2）

●ラガークラブ今年創部90周年イベント

六稜ラガークラブは今年創部90周年を迎えます。

記念行事として、下記のイベントを予定しています。

日 時：平成25年 7 月14日（日）

場 所：中央電気倶楽部（大阪市北区堂島）

○総会

○パネル ディスカッション

○式典及び懇親会

開始時刻等詳細は後日決定します。

六稜ラガークラブ 幹事長 梅本州一（89期）

母校の窓

■クラブだより

【文化部】

文芸部

■2012年度

今年度は新入生を迎え、総勢12人で活動しています。

週一回の定期活動日には主に部室で楽しく活動しています。部室は狭いながらも落ち着くことのできる空間です。

また、昨年度から部員全員で一つの小説を作る共作活動を始めました。

部誌は以下のようになっています。

・ 6 月：『北野文学』『幻』 六稜祭にて

・ 9 月：『F-style』『B-style』第十五号（夏）

・ 12 月：『幻』 文化芸術祭号

『極彩色の彩空想』

1 月16日以降の発行予定は、

『F-style』『B-style』第十六号（冬）

『幻』新入生歓迎号 となっています。

今後の活動指針、部員の精力源となりますので、部誌の感想、ご意見等ありましたら是非北野高校文芸部宛てにお寄せ下さい。

E.S.S.

◆2012年度

現在、3 年生が引退し、寂しくなった

ESS 部ですが、1 年生 7 名、2 年生 4 名で、

イギリス人の ALT の先生 2 人と一緒に、

毎週火曜日に木曜日に LL 教室で元気に楽しく活動しています！

普段は英語のコミュニケーション能力を高めるために、英語で自分の意見を述べたり、皆の前でスピーチをしたりしています。

その他にも姉妹校のセントウッド、セントレイク校との交流やハロウィンパーティー、クリスマスパーティーをしています。

物理研究部

★2012年

2013年現在、高性能のパソコンを導入して、さらに本格的にゲーム製作を中心に活動しています。

活動は、

φ基礎的なプログラミング

φ科学の様々な分野における研究

φゲーム製作の研究

の3点が中心です。

と言っても、上に挙げたのは一例で、クイズ研究同好会やその他大勢の方々にお世話になり、物理研究部の名前だけでは表しきれない「多分野クラブ」のような一面も持っています。

活動日は、平日毎日ですが、何人かの部員は他と兼部しているので、部長一人という時もあります（部長は毎日います）。

ですから、「今日はいこうかな?」と思って来る人もいるくらいの、まったりとした部活です。

部員は全員で 6 人います。新入生がたくさん入ってくるのを心待ちにしています。

化学研究部

■2012年

2013年 1 月現在、2 年生 3 人・1 年生

2 人の 5 人で毎週火・水・金に活動を行っています。

毎年 6 月の六稜祭やサイエンスラボでの

演示に加え、自分たちの興味のある実験を行っています。

今年はメチレンブルーの発色や銀鏡反応、振動反応などについての研究をしました。

生物研究部

■2012年度

現在、部員は 2 年生 1 人だけです。

部員が設定したテーマに沿って、研究活動をしています。

毎年、六稜祭や発表会でその研究成果を発表しています。

◎現在の研究テーマ

味覚、視覚

◎六稜祭での発表内容

「NaCl 水溶液の濃度と、感じる味覚の関係」

「微生物研究」

地学研究部

◆2012年

部員は 2 年生 2 名、1 年生 3 名です。

活動場所は天文台です。活動時間は昼休み、又は午後 5 時～8 時です。

今年の成果は 5 月の金環日食、6 月の金星太陽面通過、月や土星、木星などの惑星の観測・写真撮影です。

昼休みは太陽の黒点・プロミネンスの観測をしました。

夏、冬には加古川まで行き、観測会をしました。大阪では見ることができない星空・星雲・銀河などを観測できました。

美術部

私たち美術部は、2013年 1 月現在 2 年生 5 人、1 年生 4 人の計 9 名で活動しています。

部員の大半が他の部との兼部ですが、

全員集合の火曜日以外は来るも来ないも自由なので、自分のペースでじっくりと制作に取り組むことが可能です。

ジャンルは基本的に自由で、絵画、デザイン、工芸など、先生の指導を受けつつ、各々が興味のあるものに挑戦します。

展覧会前の美術室は、部員の熱気であふれることも度々です！

また、先輩後輩関係なく、部員同士で仲が良いのも特長です。

六稜祭の打ち上げと新歓を兼ねたお菓子パーティーや追ひコンなど、部員全員で遊ぶこともあります。

◎活動内容

■2012年

1 月・コンクール展（1 年 1 名・2 年 2 名）

・年誌表紙・挿絵作成

2 月・ブロック展（1 年 1 名・2 年 3 名）

4 月・球技大会プログラム表紙作成

・七宝焼き（新入生歓迎）

6 月・六稜祭

（宣伝ポスター作成、看板製作、部誌発行、作品とカリグラフィ作品の展示、絵葉書と手作りキャンドル販売）

8 月・高校展（1 年 4 名・2 年 3 名）

奨励賞 1 名

9 月・水泳大会プログラム表紙・選手名簿表紙作成

10 月・体育大会看板・プログラム表紙・選手名簿表紙作成

12 月・文化芸術祭展示部門表紙作成

コーラス部

■2012年

現在、1 年生 8 名、2 年生 4 名の計 12 名（うち女子 7 名、男子 5 名）。

まだまだ部員数は少ないですが、毎日楽しくコーラスしています！

◎今年度の活動

6 月・六稜祭への参加

ミュージカル『美女と野獣』

8 月・北野高校コーラス部 OB & OG 会

「稜声会」のコンサートへ参加

演奏曲目：『マザーグースの歌』

より『花をさがす少女』『信じる』

など

9 月・老人ホームでの敬老会に参加 & 演奏披露

演奏曲目：『信じる』『瞳』『赤とんぼ』『ふるさと』

11 月・第一ブロック音楽祭に出演

演奏曲目：『幸せ』『風が吹いている』

12 月・音楽フェスティバルに出演

演奏曲目：『幸せ』『洋楽メドレー WE ARE THE CHAMPIONS & Last Christmas』

◎これからの活動予定

○ミュージカル『オペラ座の怪人』

@ 六稜祭

●定期演奏会を開催

○NHK コンクールに出場

☆より質の高い音楽を創りあげる！

◎活動日 & 活動場所

平日：毎日 7：40～8：05（冬時

間では 8：25 まで）の朝練

12：00～12：35（冬時間では 12：20～12：55）の昼練

休日：おもに本番前に 10：00～15：00 の練習あり

☆場所は、音楽室横の小部屋（＝楽器庫）です

オーケストラ部

北野高校オーケストラ部は、全国でも珍し

い、部活動としての高校生オーケストラです。

前身である音楽部が 1932 年に創部されて以来 80 年以上の長い歴史を持ち、部員数も多く、まさに北野高校を代表する部活動となっているのです（自称）。基本的には、演奏、指揮、運営に至るまで全てを現役の生徒が行っています。

ほとんどのが初心者からのスタートですが、より良い演奏のために部員一同練習を重ねていますので、ぜひ演奏会に足をお運びいただけますよう、よろしくお願いいたします。

詳しくは「北野高校オーケストラ部」で検索していただき、公式ホームページをご覧ください。

（2012/1/3 より移転しました。ご注意ください。）

《お知らせ H24/12/21》

12月21日の本校音楽フェスティバルにて、ヴァイオリン独奏者は昨年の東日本大震災で被災した流木を使用したヴァイオリンを演奏いたしました。このヴァイオリンは、震災の記憶を引き継ぐため、今年3月から全国でリレー演奏されています。

●第66回定期演奏会

日時：2013年 5 月 3 日（金）

場所：箕面市立グリーンホール（入場無料）

曲目：◎Wolfgang Amadeus Mozart / 喜劇【劇場支配人】序曲

◎Johann Strauß II / ワルツ【春の声】

10－0 ○ 開明
4/29（決勝リーグ）
5－17 × 合同N
10－5 ○ 天王寺
＜秋季大会＞（茨木西・春日丘・北摂
つばさ・山田・箕面東と合同B）
（予選リーグ）
9/16 15－19 × 清教学園
9/23 0－32 × 生野

男子バレーボール部
現在、男子バレーボール部は2年生6人、1年生6人、マネージャー2人の計14人で活動しています。1人1人が目標を持って、どうすればうまくなるかを考えながら練習に励んでいます。練習時間が限られていますが、その分集中して練習しています。近畿大会出場を目標に頑張っていきますので応援よろしくお願いします。
■2012年
○春高予選
●0－2 星翔
○西田杯
●1－2 西野田
○2－1 高槻
○春の部別
○2－0 上宮太子
○2－0 久米田
○2－0 富田林
○豊能大会予選
○2－0 渋谷
○2－1 大商学園
○豊能大会本選
○2－0 千里青雲
○2－1 池田
○2－0 大商学園
○インターハイ予選
○2－0 四天王寺羽曳丘
●0－2 藤井寺工科
○天高戦
○1－0 天王寺
○総体
●0－2 千里星雲
○大阪新人高校大会（部別）
○2－0 藤井寺
●0－2 近大付属
●0－2 西野田
○大阪府立校大会予選
●1－2 咲くやこの花
●1－2 桜塚
●0－2 吹田東

男子バスケットボール部
男子バスケットボール部は、2年7人、1年9人、マネージャー4人の20人で活動しています。金曜は筋トレや走りこみ、火～木、土日は体育館で練習しています。コーチやOBの方々が熱心に指導してくださいます。全員仲が良く、とても楽しい雰囲気です練習にも前向きに取り組んでいます！大阪府ベスト16を目標に頑張りますので、応援よろしくお願いします！
■2012年
4月 インハイ 予選
一回戦 北野●－○山田
8月 大阪総体予選
一回戦 北野●－○関西大倉
11月 北地区公立校大会
①北野○－●柴島
②北野●－○福井
③北野○－●阿武野
④北野●－○千里
⑤北野●－○山田
最終結果
グループ四位 二勝三敗

男子ハンドボール部
僕たち男子ハンドボール部は指導者のいない中、現在2年生13人、1年生13人、マネージャー1人の計27人で活動しています。
OBさんに練習を見てもらいながら日々、キャプテンを中心に一生懸命練習に励んでいます。
近畿大会出場を果たすなど、輝かしい成績を納められました先輩方を追い越せるよう、大阪ベスト4・近畿大会出場を目標として頑張っています。
■2012年
○春季大会（北地区大会）
（ブロックリーグ戦）
○北野34－9 淀川工●
○北野24－15 牧野●
（ブロックトーナメント）
○北野13－10 市立大阪●
●北野17－20 芥川○
○秋季大会
一回戦
○北野18－14 堺東●
二回戦
○北野26－16 香里丘●
三回戦
●北野19－26 同志社香里○
○新人大会（北地区大会）
（ブロックリーグ戦）
○北野39-19 牧野●
●北野14-24 千里青雲○

女子ハンドボール部
私たちは現在2年生12人、1年生6人、マネージャー1人の計19人で月～土曜日にハンドコートで活動しています。
OBさんの指導のもと、近畿大会を目指し、夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、元気いっぱい声を出して練習に励んでいます！
これからも私たち女ハンをよろしくお願いします☆
■2012年度
○春季 インターハイ予選大会
ブロックリーグ
○16－7 桜塚
○20－8 金蘭会・関大北陽
ブロック決勝トーナメント
●6－13 北千里
（北地区優勝 北千里）
○秋季大会(南北オープントーナメント)
1 回戦○19－7 岸和田
2 回戦●4－28 北千里
○新人大会
ブロックトーナメント
●8－9 千里
●7－21 咲くやこの花

男子テニス部
男子テニス部は現在2年8人、1年5人の計13人でほぼ毎日活動しています。
OBのみなさんからのボールやガット張り機は大切にに使わせていただいています。部活では全員一丸となって頑張っています。これからも男子テニス部をよろしくお願いします。
■2012年
3月 大阪ジュニア
シングルス ベスト64
5月 春季大阪総体
団体戦 ベスト32
6月 春季赤坂杯
シングルス 優勝、ベスト8（1名）、ベスト12（1名）
7～8月 夏季大阪総体
シングルス ベスト16（1名）、ベスト64（1名）、出

場1名
ジュニア池村杯
シングルス ベスト64
大阪公立個人
シングルス ベスト8（1名）、ベスト32（1名）
9～10月 近畿高校総体
シングルス ベスト48
10～11月 秋季赤坂杯
シングルス 準優勝、ベスト4（1名）
ダブルス 準優勝
大阪公立団体
第3位
1月 近畿公立団体
ベスト10

卓球部
卓球部は現在2年生10人、1年生6人で活動しています。
練習は火曜日と木曜日と土日は体育館、月曜日と水曜日と金曜日はセミナーハウスを借りて練習しています。
部員全員が上を目指して真剣に練習に励んでいます。OBの方々もときどき練習を見に来てくれるので、レベルの高い練習をする事が出来ます。
■2012年
○大阪64ブロック大会（5/3）
男子シングルス 5 回戦進出
○春季大阪高校選手権大会
男子団体（5/4）
1 回戦 北野3－0 信太
2 回戦 北野2－3 関大北陽
男子シングルス（5/5）
4 回戦進出
男子ダブルス（5/6）
4 回戦進出
○全日本ジュニア予選（8/1）
シングルス 6 回戦進出 ベスト64
○大阪高校新人大会
男子団体（8/17）
1 回戦 北野3－0 摂津
2 回戦 北野0－3 関西大倉
男子シングルス（8/18）
4 回戦進出
男子ダブルス（8/19）
3 回戦進出
○大阪総体（11/11）
1 回戦 北野0－3 関西大倉

女子バレーボール部
私たちは人数が少ないので大変ですが、顧問の先生の熱心で厳しい指導のもと、高い目標に向かって日々練習に励んでいます！
少ない時間を大切にして、全力でバレーを楽しみたいと思います！今後とも応援よろしく願います。
部員 2年生 5人
1年生 6人
練習日程
月、火、木→体育館
金→球技場
水→OFF
土、日→体育館 or 練習試合
■2012年
○春季大会 1次予選
●0－2 東淀川
○2－1 金剛
○2－0 吹田
3部残留
○春季大会 2次予選
●0－2 高槻北
○全国高校総合体育大会
●0－2 PL学園
○大阪高校新人大会

●0－2 夕陽丘
●0－2 福井
●0－2 阿倍野
4部降格
○大阪府公立高校大会
●0－2 槻木
●0－2 千里
●0－2 東淀川

女子バスケットボール部
私たち女子バスケットボール部は、現在2年生5人、1年生6人の計11人で活動しています。
月曜日と金曜日は体育館が使えないので、月曜日はオフで、金曜日は筋トレ等をしています。
それ以外の日には体育館で練習できます。
朝授業が始まる前や、昼休みには自由に体育館で練習ができます。
毎日コーチが来てくださり、とても熱心に指導して下さいます。
夏には合宿もあります！
【戦績】
■2012年
○大阪総体地区予選
1 回戦 ○51－39 茨木
2 回戦 ●53－82 東淀川
○北地区公立校大会
1 回戦 ●42－110 豊島
2 回戦 ●39－82 北千里
3 回戦 ●58－47 茨木西

女子テニス部
現在、1年生7人で 毎日楽しく、元気いっぱい活動しています。
厳しいときは、厳しく！楽しむ時は楽しむ！をモットーに一人一人が目標を持って頑張っています！！
今年もOB・OGさんから練習球やテニス用品をいただきました。
大切にに使わせて頂いております。ありがとうございます。
これからも応援よろしくお願いします！
■2012年
○夏季総体 本戦出場 ダブルス1組
○秋季赤坂杯 本戦出場 ダブルス1組

バドミントン部
バドミントン部は現在、2年生10人＋1年生24人で練習しています。月～水の朝練・火、木、金の昼練に加え、2004年9月からは遂に放課後体育館での練習も始まり、部員一同、常に上のレベルを目指しています。また、土日にはたくさんのOB・OGの方々が練習に参加して下さいます。
今後とも、僕達バドミントン部をよろしく願います！！

■2012年
○秋季豊能地区大会
[男子シングルス初級の部] ベスト8
[男子シングルス上級の部] 3位
[男子ダブルス初級の部] ベスト8
[男子ダブルス上級の部] 3位
[女子シングルス初級の部] 2回戦進出
[女子シングルス上級の部] 3回戦進出
[女子ダブルス初級の部] 1位
[女子ダブルス上級の部] 3回戦進出
○第67回大阪高等学校夏季バドミントン選手権大会
[男子ダブルスⅡ部] ベスト8
[男子シングルスⅡ部] ベスト16
[女子ダブルスⅡ部] 3回戦進出
[女子シングルスⅡ部] 3回戦進出
○第66回大阪高等学校春季バドミントン選手権大会

[男子ダブルスⅡ部] 3回戦進出
[男子シングルスⅡ部] 3位
[女子ダブルスⅡ部] 4回戦進出
[女子シングルスⅡ部] 3回戦進出

《同好会》
園芸同好会
■2012年
基本的に前年度と変わらず、2階の中央階段横のテラスで活動しています。
部員で相談して買ったり、各自で持ち込んだりした花などを育てています。
活動も、季節の変わり目には掃除、定期的な水やりと頻繁にはないので、ゆったりとした雰囲気の同好会です。
だから、部員の多くが兼部をしていて、中には5つの部を兼部している猛者もいます。
秋の11月には育てたサツマイモで毎年恒例の「おいもパーティー」があり、皆楽しみにしています。

ジャズフォークソング同好会
■2012年度
私たちジャズフォークソング同好会は、1年生10人、2年生18人の計28人で活動しています。
今年度は4月の部活動紹介、新入生歓迎コンサート、5月のNHK「あほやねんすきやねん」で生放送のテレビ出演、6月の六稜祭、9月の安まちメール登録推進コンサート、11月の新大阪駅内のひたたり防止キャンペーンコンサート、そして12月の文化芸術祭、六稜同窓会の祝福コンサートなどに出演し、singsingsing、A列車で行こう、インザムード、ムーンライトセレナーデ、情熱大陸などを演奏しました。
サクセスやトランペット、トロンボーン、ピアノ、ギターなどの7つのパートで編成しています。
今年はジャズフォークソング同好会ができて以来初めて外部でのコンサートもさせていただき、大きく飛躍できた年となりました。
部員全員とても仲が良く、演奏はみんな楽しんでやらせていただいています！

超自然科学研究同好会
■2012年
現在、超自然科学研究同好会は1年1人、2年2人で活動しています。
今年は、超自然現象とされる現象を科学的に解明するという活動をしています。
その調査結果は六稜祭で発表しました。まだ発足して2年目なので知名度や部員も少ないですが、和気藹藹（わきあいあい）とやっています。

クイズ研究同好会
■2012年
クイズ研究同好会は現在2年生7名、1年生6名で活動しています。この同好会はその名の通り、早押しクイズを中心にクイズをする部活動です。
しかし、クイズはクイズでも生ぬるいものではありません。私たちがしているのは「競技クイズ」と呼ばれる、スポーツ的側面を持つクイズです。とはいえ、実際に走ったりするわけではなく、要するによくクイズ番組で見られるような個人個人が競い合うというクイズのことです。
日々、新しい知識や早押し技術を得るため、部員各々が問題を作り、

それを解いて批評する、という活動をしています。また、過去の問題からも出題したり、問題をデータベースにまとめたりと、体に知識を叩き込むようにしています。
クイズ研究会は発足から1年も経ちませんが数々の実績があります（詳しくは下の項目を参照）。その秘訣はクイズで得た知識を上辺だけのものにせず、そこから新たな知の世界を広げる、という活動です。あるクイズの答えに対して、ただ答えの単語を覚えるだけでなく、歴史ならばその背景、科学ならば現在の利用法など、という感じです。
大仰な紹介文になりましたが、実際はもっと気楽に活動をしており、クイズを「楽しむ」ことを第一にしています。
☆活動実績
・全国高等学校クイズ選手権（高校生クイズ）
大阪大会 決勝進出（3位）
・QuarK（近畿の学生クイズサークル）
8thペーパークイズ 2位
9thペーパークイズ 5位
9th総合 決勝進出

数学研究同好会
■2012年
現在、数学研究同好会は1年実質7人で活動しています。本同好会の主な目的は数学の能力の向上により数学オリンピックなどで好成績を残すことです。活動日は毎週木金です。活動内容は数学オリンピックの過去問をはじめとする難問を解いたり、「マスターオブ場合の数」などを解いたりしています。

おくやみ	
平成24年6月1日に馬淵利雄先生（国語S17～22）	
同年8月8日に寺田英夫先生（社会S47～60）がご逝去されました。	
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。	

125期生同窓会学年理事 2012.12.18			
	男子		女子
理事	竹内 悠里	3-2	浦田悠理子 3-7
副理事	江本 幸貴	3-7	長井 理絵 3-2

125期生同窓会クラス幹事			
組	担任	男子	女子
1	佐 川	中村 健	長方 詩織
2	浜 野	竹内 悠里	長井 理絵
3	岡 本	盛野 弘法	池田 祐生
4	岩 井	小寺 騎央	和泉原 光
5	中 島	小菅 啓史	奥山 真衣
6	徳 永	小山 拓也	吉岡茉奈美
7	重 森	江本 幸貴	浦田悠理子
8	山 本	近藤 広康	大成 奈史



事務局だより

理事会報告

■平成24年 9 月15日開催

- 総務委員会より、六稜同窓会会則変更の最終案が提示され、特に異議なく承認された。
- 広報委員会から提案の、郵便局・コンビニ・銀行に加えて、新しく WEB 上でのクレジットカード決済による会費納入方法が承認された。
- 学校から要請のあった文化活動振興の件、助成金10万円を拠出することが承認された。
- 事務局より提案の、六稜文庫運営細則改正案が承認された。内容は著作物の定義に DVD・CD を追記したものである。
- 事務局から提案の「同期会開催支援制度」について討議をし、特に異議は無かった。次回常任理事会に再度上程予定。
- 創立140周年記念行事への同窓会からの寄付金額について、討議し決議した。
- 139周年総会後の準備進捗報告が担当期の93期よりあった。
- 名簿委員会より、140周年記念名簿制作の進捗状況の報告及び会員データ収集に学年理事への協力要請があった。
- 会館催事委員会より、トークリレー日程及び139周年総会での文化勲章受章者の顕彰展示の報告があった。
- 広報委員会より、会報第59号発行の報告と第60号へのお願い、及び六稜 WEB の現況報告。
- FR 委員会より、就活相談所＆若手交流会の報告と今年度活動予定の説明。
- 東京六稜会より東京六稜倶楽部の報告。
- 学内理事より、140周年総会準備状況の報告及び学内に 2 名が新任、12名になったとの報告。
- 事務局より、六稜会館の屋根に太陽光発電設備を設置する件について、新しいスキームの報告・提案が有り討議したが、更に確認・検討が必要である。
- 事務局より各種報告があった。
理事会終了後、名簿委員会・会館催事委員会及び広報委員会を開催（16：10～17：00）

年会費納入のお願い

納入が未だの方は、この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニの用紙を選択して、納入していただきますようお願いします。
銀行振込は下記講座にお願い致します。

三井住友銀行・十三支店
普通1077672 六稜同窓会

銀行振込に際しては、必ず会員番号・氏名の順で記入してください。振込費用は各自ご負担でお願いします。

同期会開催助成金制度の創設

2012年12月 8 日

2012年12月の常任理事会で同期会開催助成金制度の創設が承認されましたので該当される期の方々はせいぜいご利用ください。なお詳細は下記の通りです。

記

1. 助成金制度の目的

これまで同窓会事務局では同期会の開催にたいして種々支援を行ってきましたが、助成金を交付することにより定期的な同期会の開催を支援し、同窓会活動への関心を深めるとともに不明者の発掘を進め、ひいては会費の納入率アップに繋げていきたい。

2. 助成金制度の概要

①助成金交付対象同期会

同期会が卒業後 4 年を経過した年（初めての同期会）及びその後 5 周年単位毎の年の 4 月 1 日から翌年 3 月31日までの年度内に開催される場合その同期会に対して助成金を交付します。但し卒業後30年までとし、 5 年毎の複数回の利用を可とします。

②支援金の額

30,000円

③申請の手続き

開催する同期会の学年理事が同期会開催助成金申請書を同窓会会長宛てに同期会開催 1 か月前までに提出していただく。

④助成金の交付時期

同期会開催助成金申請書受理後速やかに支払います。

⑤助成を受けた同期会の開催場所は六稜会館とさせていただきます。

⑥助成を受けた同期会は同期会開催時に会費未納入者のリストおよび会費納入依頼書を配布して会費納入の促進に協力していただきます。

⑦助成を受けた同期会は同期会開催後会報に開催報告を掲載することとさせていただきます。

以上

六稜同窓会年会費のクレジットカード決済が始まります。

年会費のお支払いが、六稜 WEB 上でクレジットカードを用いて出来るようになります。コンビニや郵便局、銀行へ行く手間もかからず、一度お支払いいただくと毎年 4 月 1 日に、その年度の年会費を自動で引き落とすこともできます。開始時期、詳細等については六稜 WEB ニュースヘッドラインでの告知を予定していますのでお見逃しなく！

お悔やみ

平成24年 3 月以降、平成24年12月までにご連絡頂きました方々をご卒業期順、および逝去順に掲載しております。（他に掲載辞退の方もいらっしゃいます）謹んでお知らせ致します。なお、本欄に誤りのある場合は、事務局までお知らせ下さい。次号で訂正させていただきます。（敬称略）

40期	石川	清	平成24年 4 月30日
41期	日納	恭次	平成24年 8 月10日
44期	杉山	平一	平成24年 5 月19日
46期	牛田	晴夫	平成24年12月 1 日
47期	津田	隆治	平成24年 7 月16日
48期	滝	貞夫	平成24年 9 月26日
49期	石上	重行	平成24年 7 月 3 日
52期	建野	郷一	平成24年 6 月11日
	中村	一男	平成24年 6 月27日
53期	酒井	秀郎	平成24年 8 月17日
	千馬	英一	平成24年 8 月
54期	菅野	智彦	平成24年 8 月13日
56期	中山	正一	平成24年 4 月15日
	矢野	敏郎	平成24年 4 月29日
	滝井	尚三	平成24年10月31日
	尾辻	浩二	平成24年11月12日
57期	大曾	克弘	平成24年10月28日
58期	熊田	一郎	平成24年11月 1 日
59期	中井	益代	平成24年 4 月11日
	樋口	徳光	平成24年 9 月22日
60期	若森	正雄	平成24年 3 月19日
	波多	晃	平成24年 6 月29日
	植田	浩志	平成24年11月 3 日
61期	藁	玄雄	平成24年 7 月 3 日
	伊達	大雄	平成24年 8 月 6 日
	大菅	勝仁	平成24年10月15日
	小橋	正久	平成24年10月21日
	佐藤	肇	平成24年11月26日
62期	杉原	光威	平成24年 3 月17日
	堀田	三郎	平成24年 5 月 5 日
	川原	金次郎	平成24年 7 月25日

63期	竹内	正文	平成24年 3 月18日
	外山	博文	平成24年 6 月11日
	島内	優行	平成24年 7 月25日
	門脇	彰	平成24年 9 月17日
	村松	繁	平成24年12月11日
	山田	太一	平成24年12月21日
64期	野川	博	平成24年 7 月13日
	中井	正明	平成24年11月19日
	石津	忠壮	平成24年12月 1 日
65期	南山	通子	平成24年 6 月19日
	田門	邦彦	平成24年 7 月14日
	澤村	安子	平成24年11月 4 日
	岩下	恒則	平成24年11月24日
66期	相賀	照則	平成24年 4 月22日
67期	阿部	則子	平成24年 3 月11日
	林	孝子	平成24年 3 月24日
	大原	暁	平成24年11月16日
69期	岩崎	弘子	平成24年 4 月
	松村	日出登	平成24年10月27日
70期	齊藤	建司	平成24年10月18日
71期	黒川	直明	平成24年 8 月21日
72期	岩国	一	平成24年 3 月 3 日
	前川	正夫	平成24年 5 月 9 日
74期	加藤	隆司	平成24年 8 月 7 日
	柳	康之	平成24年 8 月19日
	高松	秀機	平成24年10月 5 日
	若林	勝	平成24年10月15日
77期	石束	吉孝	平成24年 9 月 7 日
78期	大月	秀夫	平成24年10月27日
	中里	公子	平成24年10月29日
92期	田中	宏子	平成24年 5 月15日
	美濃	一吉	平成24年 9 月13日

お詫び

会報59号のお悔み欄でお詫び申し上げた際に、67期土井憲一様のお名前の憲の字を誤って賢と表記してしまいました。再度ご迷惑をお掛けし誠に申し訳ありません。今後二度とこのようなミスを犯さないよう厳重なチェック体制をとりますのでご容赦ください。

六稜文庫12月末までのご寄贈受付分

http://rikuryo.or.jp/books/

- 「大震災で住宅ローンはどうなるのか」 島本慈子（82期）
- 「我が魂は天地を駆けて 岸本嘉名男作品集」 岸本嘉名男（68期）
- 「理工系学生のための高校数学ドリル」
- 「エレクトロニクス用語辞典（改訂 4 版）」
- 「情報処理活用能力検定 準 2 級テキスト コミュニケーション」
- 「よくわかる！第 1 級陸上特殊無線技士試験」
- 「第 1 級陸上特殊無線技士試験 厳選問題」
- 「美しい女」
- 「ララバイ・オブ・ユー」 西沢正樹（87期）
- 「MUSIC BY CHOPIN」 西水ヴァレニユク佳代（94期）
- 「六稜六四会 DVD」 六稜64期（64期）
- 「フィリピン 近現代史のなかの日本人 植民地社会の形成と移民・商品」 早瀬晋三（86期）
- 「京の橋ものがたり」
- 「大井川に橋がなかった理由」
- 「日本百名橋」
- 「論考 江戸の橋―制度と技術の歴史的変遷」
- 「橋梁景観の演出―うるおいのある橋づくり」
- 「大阪の橋」
- 「八百八橋物語」 松村博（74期）

- 「峠を越えて」
- 「建設・防災技術者のための物理探査」 芦田譲（74期）
- 「今なぜ地球環境なのか」
- 「地球環境保全の法としくみ」
- 「京都学派の遺産―一生と死と環境」 松井三郎（74期）
- 「水門工学」
- 「鋼製ゲート百選」
- 「市民環境工学シリーズ 風土工学」
- 「現場技術者のための土工事ポケットブック」
- 「湖国の「水のみち」―近江 - 水の散歩道」
- 「湖水の文化史シリーズ 第一巻～第五巻」
- 「環境防災学―災害大国日本を考える文理シナジーの実学」
- 「ダムと堤防：治水・現場からの検証」
- 「蔡温あけみお物語」
- 「雫石あねっこ物語 第 1 話～第 7 話」
- 「徳の山八徳物語」
- 「満山ガータロ物語」
- 「風土工学 第42号 福島第 1 原発事故からの教訓」
- 「日本感性工学会 風土工学研究部会 会報 第54号」 竹林征三（74期）
- 「くわがたマガジン No.12～No.52」
- 「ユニークアニマル No.3、No.7、No.8」
- 「ウォーターアニマル」 浦上文顕（94期）
- 「蛇と女と鐘」 福井栄一（97期）
- 「コールサック詩文庫10「岸本嘉名男詩選集一三〇篇」 岸本嘉名男（68期）